

官報

號外

大正九年七月七日

水曜日

印刷局

第四十三回
帝國議會 衆議院議事速記録第五號

大正九年七月六日(火曜日)午後一時九分開議

議事日程 第四號 大正九年七月六日

午後一時開議

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑 (前會ノ續)

第一 大正八年法律第五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 大正八年法律第九號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 大正九年勅令第四十八號(承諾ヲ求ム件)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ求ム件)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(奧繁三郎君) 諸君 諸般ノ報告ヲ致シマス

(京田書記官朗讀)

一昨五日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

日本興業銀行法中改正法律案

一今六日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

福山三次間輕便鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 永屋 茂君 井上角五郎君
河相 三郎君 望月 圭介君
敦賀港擴張ニ關スル建議案
提出者 河崎 清君 野村勘左衛門君
高島七郎右衛門君 山本条太郎君
柳原九兵衛君 西村 正則君
中村 喜平君 望月 圭介君
一昨五日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
恩給制ニ關スル質問主意書
提出者 松下 禎二君

危險思想防遏及教育ニ關スル質問主意書

提出者 松下 禎二君

米國新船舶法並之ニ對スル帝國ノ政策ニ關スル質問主意書

提出者 橋本 喜造君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一昨五日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

四四九 望月小太郎君 四五〇 平出喜三郎君

一昨五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

所得稅法改正法律案外五件

松田 源治君 今泉嘉一郎君 前田 米藏君

森 恪君 栗林 五郎君 菅原 傳君

戶符權之助君 米澤與三次君 青木恆太郎君

松浦五兵衛君 下山 民義君 赤田 瑳一君

改野 耕三君 山口 嘉藏君 三土 忠造君

藏內次郎作君 牧山 耕藏君 本田 恆之君

高木 正年君 崇安新九郎君 鶴澤 宇八君

津原 武君 鈴木富士彌君 正木 照藏君

大口 喜六君 前川 虎造君 上田彌兵衛君

小額紙幣發行ニ關スル法律案

今井 今助君 河崎 清君 西川 嘉門君

渡邊 祐策君 樋口伊之助君 青柳郁次郎君

太田信治郎君 森 達三君 井內 歡二君

實業教育費國庫補助法中改正法律案

橫山寅一郎君 高柳淳之助君 伊澤平左衛門君

志賀和多利君 柳原九兵衛君 神田 重義君

舞田壽三郎君 山田 永俊君 八木 逸郎君

若林 德懋君 三善 清之君 上塚 司君

齋藤宇一郎君 樋口 秀雄君 中馬 與九君

淺賀長兵衛君 小橋藻三衛君 松下 禎二君

鐵道敷設法中改正法律案

中西六三郎君 三枝彦太郎君 清 峯太郎君

丸山嵯峨一郎君 菊池長右衛門君 平田民之助君

高山 長幸君 高野 毅君 松野 鶴平君

柿原政一郎君 蓮井 藤吉君 山口 熊野君

前田 米藏君 廣瀬 鎮之君 熊谷 直太君

江崎幸太郎君 妹尾 順平君 小池 仁郎君

高橋久次郎君 金尾 稜嚴君 前田 兵郎君

石井 研二君 森山儀文治君 重松 重治君

石川長右衛門君 湯淺 凡平君 若尾 璋八君

大正九年勅令第七十一號(承諾ヲ求ム件)

鶴澤 總明君 友常毅三郎君 岩崎幸治郎君

塚原 嘉藤君 北井波治目君 大島實太郎君

清瀬規矩雄君 海原 清平君 中村 清造君

中島 鵬六君 高見 之通君 橫山勝太郎君

作間 耕逸君 松井 欽夫君 八並 武治君

有森 新吉君 鮎川 盛貞君 矢島 專平君

一今六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

所得稅法改正法律案外五件委員

委員長 松田 源治君 理事 今泉嘉一郎君

松浦五兵衛君 今泉嘉一郎君 鈴木富士彌君

大口 喜六君 上田彌兵衛君

小額紙幣發行ニ關スル法律案委員

委員長 今井 今助君 理事 井內 歡二君

實業教育費國庫補助法中改正法律案委員

委員長 橫山寅一郎君 理事 志賀和多利君

山田 永俊君 松下 禎二君

鐵道敷設法中改正法律案委員

委員長 中西六三郎君 理事 丸山嵯峨一郎君

高野 毅君 松野 鶴平君 若尾 璋八君

大正九年勅令第七十一號(承諾ヲ求ム件)委員

委員長 鶴澤 總明君 理事 橫山勝太郎君

有森 新吉君

○議長(奧繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問致シマス事

ガアリマス、第六部選出決算委員小鹽八郎右衛門君、右

常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可致ス考デゴイマス、

御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ決シマス、第六部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ヲ行ハレマシテ、其結果ヲ議長ニ御届出アラシコトヲ望ミマス、前會ニ引續キマシテ、國務大臣ノ演説ニ對スル質疑ニ掛リマス、濱口雄幸君、大藏大臣ハ今出席ニナリマス

○濱口雄幸君 大藏大臣ト、陸海軍ノ國務大臣ノ出席ヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 今請求ヲ致シマシタガ、大藏大臣ハ見エラレマス、濱口君、大藏大臣ト海軍大臣ハ出席ニナリマシタガ、陸軍大臣ハ、貴族院ノ本會議ニ於テ今質問ニ對スル答辯中デアリマス

○濱口雄幸君 私ハ劈頭第一ニ陸軍大臣ニ質問ヲシナケレバ、後ノ質問ガ續ケラレマセヌ、暫ク待チマセウ

○議長(奥繁三郎君) 濱口君ハ今演説ヲサレマセヌガ、樋口君、何カ御發議ガアルヤウデゴザイマスガ、何デゴザイマスカ

○樋口秀雄君 私ハ發議デハアリマセヌガ、昨日佐々木君ノ動議ノ採決ノ前ニ、採決ニ關スル事デ發言ヲ求メテ置キマシタ、通告ヲ致シテ置キマシタ、其前ノ岩崎君ノ動議ニ依リ採決ノ際ニモ、是ガ終リナラバアナタニ發言ヲ許スト云フ議長ノ宣言ガアッタ、然ルニ其後ニ於テ私ガ議長ヲ呼ビマシタレドモ、議長ハ顧ミテ議事ノ進行ヲ爲サレマシタ、ソレハ何故デアラカト云フコトヲ、書面ヲ以テ質問ヲ致シマシタ、其御答ヲ得タイノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) ソレハ議長ハ議事ノ進行ノ都合ニ依テ、サウ致シタノデアリマス

〔濱口雄幸君登壇、拍手起ル〕

○濱口雄幸君 諸君、本員ハ今日國防ノ計畫ニ關シ、竝ニ財界ノ反動ニ關シテ國務大臣ニ質疑ヲ致ス積リデ、登壇ヲ致シタノデアリマス、然ルニ先刻豫算委員總會ニ於ケル、早速整爾君ト陸軍大臣トノ質問應答ヲ承リマシテ、寔ニ國務大臣ノ責任ニ關スル極メテ重大ナル事件ニ際會ヲ致シマシタ、是ニ於テ質問ノ順序ヲ更メマシテ、劈頭第一ニ陸軍大臣ニ對シテ質問ヲ致シマス、豫算委員會ニ於ケル早速君ノ質問ノ要旨ハ、陸軍大臣ハ、去ル三日貴族院ノ本會議ニ於テ阪谷男爵ノ質問ニ答ヘラレテ、尼港慘殺事件ニ就テハ自ラガ其責任ヲ執ル、決シテ責任ヲ回避スル者デナイト云フ答辯ヲ與ヘラレタヤウデアアルガ、其責任ハ如何ニシテ之ヲ執ルカ、責任ヲ執ルトハ如何ナル意味デアラカト云フ、早速整爾君ノ質問デアッタノデアリマス、然ルニ陸軍大臣ハ之ニ答ヘテ、自ガ責任ヲ執ルト云フコトヲ言ッテハ、特ニ

尼港事件ニ就テ責任ヲ執ルト云フ意味デハナイ、尼港事件ニ限ラズ、總テ陸軍ニ關スル事ハ自ガ責任者デアアル、ソレ故ニ善惡共ニ責任ヲ執ルトハ、當然デアルト云フ意味デアッタノデアアル、然ラバ尼港事件ニ就テハ、何等ノ失策、何等ノ怠慢、何等ノ過失ハ無カ、タノデアアルカト、此反問ニ對シテ陸軍大臣ハ、尼港事件ニ就テハ何等ノ失策、何等ノ怠慢、何等ノ過失ハ斷ジテ無カ、タノデアアル、斯様ナル答辯デアッタノデアリマス、吾々ハ其前ニ於テ、貴族院ノ速記録ヲ讀ンデ、阪谷男爵ト陸軍大臣トノ質問應答ノ經過ヲ詳細ニ承知ヲ致シテ居タ、今日豫算委員會ニ於ケル、早速君ノ質問ニ對スル唯今ノ陸軍大臣ノ答辯之ヲ承リマシテ寔ニ驚愕ニ堪ヘナカッタノデアリマス(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」私ハ貴族院ノ速記録ヲ持ッテ居リマスルガ、阪谷男爵ト陸軍大臣トノ質問應答ノ顛末ヲ要點ヲ摘シテ申上ゲテ續イテ陸軍大臣ニ對シテ確タル答辯ヲ促ス(謹啓)「ト呼フ者アリ」阪谷男爵ノ質問「ニコライエフスキノ問題ニ付キマシテハ、何人ガ其責任ニ任スルカト云フ」ハ第一ノ問題、又善後策ヲ如何ニスルカト云フハ第二ノ問題、是ハ滿場ノ諸君、又全國民ガ聞カント欲シテ居ル所ノ點デアラウト考ヘマスノデアリマス、先刻來總理大臣、外務大臣、陸軍大臣ノ御演説ニ依リマスレバ、如何ニモ悲慘ナ出来事デアアル、如何ニモ痛惜ニ堪ヘヌト云フ、大ニ悲シク御言葉ハ拜承ヲシタノデアリマスガ、一言半句其責任如何ニスルカト云フ事ニ付テノ辯明ヲ聞カヌハ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス、七百人ノ老弱男女悉ク異域ノ鬼トナシテ終リタ、此悲慘ナル出来事、一人ノ責任ニ任スル人ガナイノデアリマセウカ、甚ダ國民ハ怪訝ニ堪ヘマセヌ、歴史ヲ按シマスルト、單ニ一人ノ人ガ殺サレタト云フヤウナコトカラ、内閣ガ更ニヤウナ例モ餘所ノ國ニハアリマスルノデアリマス、斯ル悲慘ナ出来事ニ付テ、一人ノ責任ヲ取ラヌ、皆其責任ヲ讓テ仕舞フト云フコトニナッタナラバ、國民ハ決シテ満足ヲ表セヌノデアラウト私ハ思フ、誰ガ惡イ、參謀本部ガ惡イノカ、外務省ガ惡イノカ、總理大臣ガ惡イノカ、誰ガ惡イノカ、其責任ノ徑路ヲ明カニシテ置キタイト云フノガ、私ノ質問ノ要點デアアル(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」拍手起ル(又同男ハ言葉ヲ續ケテ)「斯ク事實ノ御辯明ニ依ッテ考ヘマスルト何等カノコトニ不注意ナコトガアル、而モ其不注意ノ結果ガ七百名ノ同胞ヲ無慘ノ最期ヲ遂ゲシメテ、我が歴史ノ中ニ一大汚點ヲ印シタト云フコトニ至ッテハ、其責任甚ダ輕カラヌト思フ、然ルニ一人ニモ其責任ニ任スル人ガナイ、甚ダ不思議ノ現象ト私ハ思ッテ居ル」是ガ阪谷男爵ノ質問ノ要點デアリマス、然ルニ陸軍大臣ハソレニ對シテ答辯ヲセラレテ「先ツ責任ノコトニ付テノ御尋ネデアリマス、私ハ陸軍

大臣トシテ、苟クモ陸軍ニ關係スルコトハ全責任ヲ私ガ帶ビマス、決シテ責任ヲ回避ハ致シマセヌ」(其通り)「ト呼フ者アリ」斯様ニ斷言ヲセラレテ居ル、續イテ「是ダケハ私が經過ノ概要ヲ申シマスルノデ、決シテ陸軍大臣トシテノ責任ヲ御聽取リヲ願ヒマス」(無論々々)「明瞭ダ」ト呼フ者アリ」斯様ナ答辯ヲ與ヘラレテ居ル、果シテ然ラバ陸軍大臣ガ阪谷男爵ノ質問ニ對シテ責任ヲ執ル、責任ヲ回避スルノデナイト答ヘラレタノハ、男爵ノ質問ノ趣意カラ言ヒマスレバ、七百名ノ同胞ヲ悉ク異域ノ鬼ト化セシメ、我歴史ノ上ニ一大汚點ヲ印シタル其責任、此責任ガナケレバナラヌ(ヒヤ)「ト呼フ者アリ、拍手起ル」ソコデ阪谷男爵ハ之ニ満足ヲセラレテ「陸軍大臣ガ明瞭ニ自ラ責任ヲ執ルト云フ御考デアレバ、其以上私ハ質問イタシマセヌ」大ニ満足ノ意ヲ表セラレテ、質問ヲ打切ッタノデアリマス(拍手)吾々ハ此速記録ヲ讀ミマシテ、流石ニ陸軍大臣デアアル國務大臣トシテハ、是ダケノ覺悟ハナケレバナラヌ、如何ニモ見上テ態度デアルト云フノデ、密ニ敬服ヲシテ居ッタノデアリマス、然ルニ本日ノ豫算委員會ニ於テ早速君ニ對シテ答ヘラレタ其答辯ハ、前申シタ通り、殆ト陸軍大臣トシテ官制上ノ責任ヲ執ルトニ過ギナイ、陸軍ニ關スル事ハ、自ガ責任者デアルト云フタニ過ギナイ(當然ダ)「ト呼フ者アリ」而シテ「然ラバ尼港問題ニ就テハ、何等ノ缺點モ無イカ、何等ノ怠慢モ無イカ、失策モ無イカト云フ反問ニ對シテハ、斷ジテサウ云フ事ハ無イト云フコトヲ斷言セラレテ居ル、是ハ明ナル矛盾デハナイカ」(ノウノウ)「ヒヤ」「大矛盾」ト呼フ者アリ」果シテ尼港ニ於ケル我カ同胞ノ大虐殺事件、我が歴史ノ上ニ一大汚點ヲ留メラレタル此事件ニ對シテ、何等ノ失策モ無カッタ、何等ノ缺點モ無イ、何等ノ過失モ無イト云ハレルナラバ、此尼港虐殺事件ニ對シテハ、陸軍大臣ノ責任デナイト云フコト、同シ事デアアル、事柄ハ國務大臣ノ責任ニ關スル重大ナル問題デアアル、私ハ國民環視ノ此壇上ニ於テ、陸軍大臣ガ確ト腹ヲ決メラレテ、明確ナ答辯ヲ與ヘラレンコトヲ希望シマス(拍手起ル)其答辯ノ爲サレ方如何ニ依リマシテハ、吾々ハ國民ト共ニ、大ニ考フル所ガナケレバナラヌ(拍手起ル)是ヨリ私ノ質問ノ豫定ノ順序ニ入リマス、私ハ先ツ第一ニ國防充實ノ計畫ニ關スル、陸海軍兩大臣ノ責任ニ就テ質問ヲ致ス考デアリマス、政府ハ歐羅巴大戰ノ實驗ニ顧ミ、戰後世界ノ形勢ニ鑑ミテ、國防充實ト云フコトガ、最も緊要デアルト云フコトヲ認メラレテ、第四十二議會ニ向ッテ、膨大ナ計畫ヲ樹テ、之ヲ提案セラレタノデアリマス、其計畫ノ大要ハ、御承知ノ通り陸軍ニ於テハ大正九年度ヨリ二十二年度ニ互

大臣ニ大藏大臣ノ演説ヲ承ツテアリマスルガ、兩大臣ノ言ハル、所甚ダ不明瞭デアッタノデアリマス、總理大臣ハ斯様ニ言ハレテ居ル政府ハ速ニ經濟界ヲ挽救シテ、不景氣ヲ來スガ如キ處置ヲ避ケタキ方針ニ依リ、是方實行ニ努メタケレドモ、圖ラズ近來動搖ヲ見ルニ至リタルハ、頗ル遺憾トスル所ニシテ云々、圖ラズモ」ト言ッテ居ル、恰モ近來ノ財界ノ大動搖ヲ以テ、不可抗力ニ基クモノト考ヘテ居ルヤウデアアル(拍手起ル)其結果、隨テ政府此問題ニ對シテ、何等責任ヲ負フノ考ガ無イト了解ラセラル、ノデアリマス(拍手起ル)又大藏大臣ハ斯様ニ申サレテ居ル、此轉換期ニ處スベキ用意ノ足ラザリシコトハ、甚ダ遺憾トスル所デゴザイマス」ト其用意ガ足ラナカッタト云フコトハ、國民ノ用意ノ足ラナカッタコトヲ云フカ、政府ノ用意ガ足リナカッタト云フカ、其前後ノ關係カラ考ヘマスレバ、藏相ハ財界混亂ノ原因ヲ全ク國民側ノ用意ガ足リナカッタコトニ歸セラレテ居ル、隨テ政府ハ其責任ヲ負フノ理由ナシト御考ニナッテ居ルヤウデアアル、若シシテ政府ノ御考ガ右ノ通りト致シマスナラバ、本員ハ斷ジテ首肯スルコトハ出來ナイ(ヒヤ)ト呼フ者アリ)抑、我財界今日ノ如キ大混亂ヲ生ジマシタ事柄ハ、尼港ノ慘虐事件ト共ニ、我國ノ內政竝ニ外交上ニ現レタル二大失政ノ結果ヲ、遺憾ナク暴露スルモノデアル(拍手起ル)而シテ其責任ハ兩ツナガラ政府ニ在リト私ハ斷定ヲ致ス(拍手起ル)財界今回ノ動亂ハ、其ノ來リト誠ニ急激デアリマス、其程度ハ如何ニモ深刻デアアル、都鄙ノ別ナク、全國ヲ通ジテ有リト有ユル農工商悉ク其影響ヲ受ケナイ者ハ無イ、殊ニ勞働者ニ至リマシテハ、失業ノ結果速ニ生活ノ途ヲ失ヒ、其狀況ハ定ニ慘澹タルモノガアルノデアル、社會ノ各方面ニ現レマシタル色々ノ事柄ヲ茲ニ列舉致シマシテ、財界混亂ノ真相ヲ説明スルモノフコトハ、當ニ其煩ニ堪ヘマセバカナイ(簡單ト呼フ者アリ)斯ル公開ノ席上ニ於テ幾多悲慘ノ事實ヲ茲ニ暴露スルト云フコトハ寧ロ本員ノ忍ビナイコトデアリマス、近頃稍、小康ノ姿ガナイデモアリマセウレドモ、是ハ一時的表面的ノ假裝ニ止リマシテ、深ク財界ノ裏面ヲ窺ヒマースルトキニハ、所謂死屍累タトシテ横ッテ居ル、ケレドモ未ダ喪ヲ發シナイト云フ狀態デアアル(拍手起ル)一度時ガ到リマシテ各自損益ノ決算ト云フモノヲ世ノ中ニ暴露シマスル時ニハ、世人ヲ驚カスベキ事實ガアルデアラウト思フ、此時機ニ至リマスレバ、我が財界ノ動搖ハ益、甚シキヲ加ヘ或ハ禍ガ遂ニ金融ノ機關ニ及ビ銀行ノ破綻ガ踵ヲ接シテ現ル、ト云フコトガアリマシタ時ニ於テハ、我が財界ハ混亂ノ域カラ一步ヲ進ンデ速ニ一大恐慌ノ襲フ所トナッテ、其極或ハ經濟ノ組織ヲ破壞シ、或ハ產業ノ基礎ヲ蹂躪スルト云フ結果ニナルト云フコトガ無イトモ、保證ハ出來マスマイ(拍手起

ル要スルニ我が經濟界ノ現狀ハ、一口ニ申シマスレバ、宛
ニ危險ノ狀態ニ在ルト謂ハナケレバナラス、本員ガ先ツ問ハ
ントスル所ハ、我が財界ヲシテ今日ノ如キ危險ノ狀態ニ陷
ラシタル其原因ハ、何デアルコト云フコトデアリマス、凡ソ經
濟界ノ移變リニ方リマシテハ、急激ナル反動ガ來ルト云フコ
トハ、努メテ之ヲ避ケナケレバナラス、急激ナル反動ガ來ルコ
トヲ避ケヤウト思ヒマスナラバ、反動ノ原因タル所ノ財界
好況ノ時ニ於テ、相當ノ政策ヲ行テ財界ヲ調節スルト云
フコトガナケレバナラス、今回ノ如キ急激ニシテ、而モ深刻ナ
ル不景氣ノ襲來ヲ避ケヤウトムルナラバ、初メ好景氣ノ時
ニ方リマシテ、事業ノ濫興ヲ抑ヘ、努メテ投機ノ思惑ノ旺盛
ヲ抑制シナケレバナラス、是レ即チ財界ヲ指導スベキ職責ヲ
有ル居ル人々ノ當然ノ責任デナケレバナラス(ヒヤ)「
ト呼フ者アリ、拍手起ル」若シサウデナクシテ初メ好景氣ノ
時ニ於テ、其事業ノ濫興、投機思惑ノ旺盛ト云フコトハ自
然ノ勢ニ放任ヲ致シテ、毫モ抑制ヲ加ヘヌト云フコトガア
タトキニハ、總テ來ルベキ反動ト云フモノハ、極メテ急激デア
リ、深刻ヲ極ムルト云フコトハ、固ヨリ當然ノ結果デアリ、況
ヤ之ヲ自然ノ勢ニ放任スルニ止ラズ、時ニ政府タルモノガ動
モスレバ却テ事業熱ノ獎勵シ、投機思惑ノ煽揚スルガ如キ
態度ヲ執ルニ於テハ(拍手起ル)其結果ハ言ハズシテ明デア
リマス、抑テ過去二年ノ間財界未嘗有ノ好況時代ハ、果シテ
マシテ、我が内閣ノ執リマシタル所ノ政策並其態度ハ、際シ
如何デアッタカ、政府ハ時弊ニ適中スベキ所ノ有效ナル政策
ト云フモノヲ行フコトガ出來マセヌノデ、所謂放任主義ニ
陥ラタリ、或ハ投機煽揚ノ態度ヲ執リマシタコトハ、國家
ノ爲メニ定ニ遺憾トスル所デアリマス(拍手起ル)戰爭ガ終
リマシテカラ、最近ニ至リマスル財界ノ好況時代ヲ通ジ
テ、我經濟界ニ現レマシタル最モ顯著ナル現象ハ何デアッタカ
即チ通貨膨脹信用ノ異常ナル膨脹デアリマス、通貨信用ト
ガ異常ニ膨脹シマシタル結果ハ、一面ニ於テ物價ノ騰クベキ
暴騰トナツタ、一面ニ於テハ事業ノ濫興、投機思惑ノ旺盛
ヲ招イタルデアリマス、物價暴騰ノ結果ハ申スマデモナク國民
ノ生活ヲ脅シ、國民思想ノ惡變ヲ助ケルト同時に又通貨
ノ膨脹ト相俟テ、投機思惑ノ旺盛ヲ助長シタルデアリマ
ス、是ニ於テ一方ニ於テハ國民ノ生活ノ不安ヲ除キ、他
ノ一方ニ於テハ、事業ノ濫興、投機思惑ノ旺盛ヲ抑ヘマシ
テ、他日來ルベキ所ノ財界ノ恐慌ノ豫防シ、之ヲ緩
和シマスルガ爲メニ、通貨ノ膨脹ヲ抑ヘ物價ノ調節ヲ行ハ
ナケレバナラスト云フ議論ガ、兩三年前カラ識者ノ間ニ盛ニ
唱道サル、ニ至タノデアリ、吾々ハ早クヨリ致シマシテ、斯ノ
如キ主張ヲ持テ居タル、政府ニ向テ警告ヲ與ヘタル
デアリマス、又天下ノ識者、政治家、學者ハ申スマデモナク

實業界ニ在リマシテモ、相當見識ヲ持テタル所ノ人々ハ、同
様ノ主張ヲ持テ居ル、貴族院議員諸氏モ吾々ト其主張ヲ
同ジウシマシテ、政府ニ向テ嚴ニ警告ヲ與ヘタルデアリマ
ス、然ルニ政府ハ各方面ノ警告ニ對シマシテ、更ニ耳ヲ傾ケ
ル所ガナイ、誠意ヲ以テ有效適切ナル政策ヲ行ヒマセヌ、唯
ダ極メテ姑息不徹底ナル政策ヲ弄シテ、當面ノ事ヲ胡亂化
スト云フニ過ギナカッタデアリマス(拍手起ル)其當時政府
ノ行ヒマシタル政策ハドウ云フモノデアッタカ、又其政策ガ何
故ニ姑息不徹底ノモノデアッタカ、此點ニ就キマシテハ、當
春ノ議會ニ於テ、一月十三日此壇上ニ於テ本員ハ詳細ニ
之ヲ指摘致シ、茲ニ再ビ繰返スノ必要ヲ認メマセヌ、又事
新シク茲ニ繰返スノ、餘リ明白ニ天下ニ知レ渡テ居ル、
天下ガ之ヲ周知シテ居ルバカリデナイ、政府自身ト雖モ、恐
クハ自分ノ行タル政策ハ、如何ニモ姑息不徹底デアッタ
コト云フコトハ、御承認ニナラヌト云フ居ラウト思フ(拍手起ル)
若シ御承認ニナラヌト云フ居ラウト思フ(拍手起ル)
貴族院ノ速記録ニ依テ明ニ之ヲ證明スルコトガ出來ル、私ハ
二月二十三日並ニ二十四日ニ於ケル、總理大臣ト仲小路君
トノ質問應答ヲ讀シテ見マスレバ、總理大臣自ラ政府ガ行
タル政策ガ、餘リ效能ガナク云フコトヲ十分ニ御承認ナ
テ居ル、尙ホソレデモ御議論ガアルト云フナラバ、本員ハ直チ
ニ證據ヲ示スコトガ出來ル、其證據ハ何デアルカ、財界ニ今
日ノ如ク反動ノ二大不景氣ヲ招イタコトガ、何ヨリノ證據
デナイカ(拍手起ル)大藏大臣顔色ナシト呼フ者アリ)併
ナガラ私ハ念ノ爲メニ「二ノ事實ヲ舉ゲマシテ、政府ノ所
謂經濟政策ガ斯ノ如ク不徹底デアリ、斯ノ如ク姑息デ
アッタコト云フコトヲ證明シヤウト思フ」デアリマス、貴族院ノ
嚴重ナル警告ニ會ヒマシテ、政府ガ倉皇トシテ立案シタル
所ノ所謂公設市場ノ獎勵、住宅建築ノ獎勵、是ハ政府ニ
於テ非常ニ御得意デアルヤウデアリマス、元來公設
市場ノ獎勵ノ如キ住宅建築ノ獎勵ノ如キハ、本來物價ノ
調節トハ何等ノ關係ガ無イ況ヤ通貨ノ收縮トハ沒交渉デ
アリマス、唯ダ物價ハ其奔騰ニ委セ、物價奔騰ノ結果生活
ニ苦シム者ニ對シテ、社會的ニ之ヲ救済スルト云フノガ目
的デアリ、而モ社會的ノ救済策ト致シマシテモ、其規模ガ
餘リニ小デアリマシテ、其效果ハ少シモ舉テ居ナイノデア
リ、是ガ即チ姑息不徹底ノ標準デアリマセヌカ、(拍手起
ル)第二ハ公債募集——公債募集ト云ヒマシテモ、海外放
資ノ爲メニスル募集デアリマスナラバ、通貨收縮上相當
ノ效果ガアルト考ヘマスケレドモ、政府ノ公債募集ハサウデ
ナイ、普通ノ事業公債、軍事公債、此事業公債、軍事公債
ヲ募集シテ、ソレガドウシテ通貨ノ收縮ニナルカ、通貨ノ收縮
ニナラヌバカリデナイ、却テ通貨膨脹トナル傾ガアル、殊ニ驚

入タル事ハ、昨年ノ八月六日各新聞ニ發表サレマシタル所
ノ大藏大臣ノ所謂覺書ハ私書ト稱スル、其私書ヲ見マ
スルト云フト、斯ウ云フコトガ書イタル、公債地方債ハ愚
ナコト、社債ノ發行、株式ノ拂込——之ヲ以テ通貨收縮策
ノ一二數(テ)居ル、宛ニ驚入タル次第デアリ、通貨ヲ收縮
センガ爲メニ、社債ノ發行ヲ獎勵ナサル、株式ノ發行ヲ獎勵
ナサル、斯ノ如キ考ヲ以テ、大藏大臣ガ通貨ノ收縮ヲ圖ルナ
ラバ、大藏大臣ノ所謂通貨收縮策ノ結果ハ、事業ノ濫興、
投機ヲ招ク傾ガアル、(拍手起ル)第三ハ貯蓄ノ獎勵
デアリマス、貯蓄ノ獎勵ト云フ事ハ、政府ガ最モ重キヲ
措イテ居ル所ノ政策デアリマス、ケレドモ、政府ノ所
謂貯蓄ノ獎勵ハ徒ラニ口舌文書ノ上ニ止ッテ居
ル、吾々ハ貯蓄獎勵ノ有效ナル政策トシテ、郵便貯金利子
ノ引上ヲ行フ必要ガアルト云フコトヲ、常ニ唱道致シタル
デアリマス、ケレドモ、政府ハ嘗テ之ヲ採用シナイ、其言フ
所ヲ聽キマスレバ、郵便貯金ノ利子ヲ引上ナクテモ、郵便貯
金ハ段々増加ヲシテ居ル——併ナガラ預金部ノ資金ノ如キ
ハ、多々益、辨ズルモノデアリナカ、六億ニ致シタカラ、七億ニ
シタカラ、止メテモ宜シト云フ性質ノモノデアリ、此上更ニ
郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲマスレバ、預金部ノ資金ガ今日ヨ
リモ一層豊富トナツタ、國民ノ貯蓄ヲ獎勵スル上ニ於テ、有
效ナル結果ヲ生ジタコトハ、疑ヲ容レナカッタデアリマス(拍
手起ル)右ハ政府ノ經濟政策ノ主ナルモノニ就キマシテ、一
二ノ例ヲ舉ゲマシテ、其政策ガ宛ニ姑息デアリ、宛ニ不徹底
デアッタコト云フコトヲ證明シタルデアリマス、其以下政府
ノ爲スルハ悉ク此類デアリ、通貨ノ收縮、物價ノ調節ニハ
更ニ利キ目ガ無カッタデアリ、彼ノ通り財界ノ熱狂ノ時代
ニ於テ姑息不徹底ト云フコトヲ天下ノ人モ悉ク認メテ居
ル政策ヲ行ヒ、加之政府自ラニ於テモ、姑息不徹底ト認ム
ル政策ヲ行ッテ、此上更ニ有效適切ナル政策ヲ行フコトモ
出來ズ、又行フ意思モ無イト云フ態度ガ、世ノ中ニ判ツタ
デアリマス、サナキダニ狂奔ニ傾イテ居タル財界ハ茲ニ
愈、政府ノ裏書ヲ得テ、益、狂奔止ル所ノ知ラズト云フ狀態
ニナツタデアリ、狂奔ノ結果ハ遂ニ財界ノ大反動ヲ招イテ、
今日ノ混亂ニ陥ラタコト云フコトハ、固ヨリ當然ノ事デアリ、是
デモ政府ハ責任ガナク御考ニナルカ、(拍手起ル)然ラバ政
府ハ通貨收縮、物價調節ノ爲メニ、有效ナル政策ガアルト
云フコトヲ知ラナカッタデアリカ、知ッテ居ッテ之ヲ行ヘナカ
タノデアリカ、知ッテ居ッテ之ヲ行ヘナカッタデアリカ、知
ッテ居ッテ之ヲ行ヘナカッタデアリカ、知ッテ居ッテ之ヲ行
ヘナカッタデアリカ、知ッテ居ッテ之ヲ行ヘナカッタデアリカ、
之ヲ行フ勇氣ト能力トガ無カッタ、(拍手起ル)其著シキ
例ヲ申シマスナラバ、即チ日本銀行ノ金利ノ引上デアリ、日
本銀行ノ金利ノ引上ハ、確ニ彼ノ場合ニ於テ有效ナル政
策ノ一ツデアリト云フコトハ申スマデモナイ、日銀利子ノ引

上ニ依テ總テ問題ヲ解決スルコト云フコトハ、固ヨリ出來マ
セヌ、總テノ問題ノ解決ハ出來マセヌガ、之ニ依テ財界ノ將
來ニ警戒ヲ與ヘ、信用ト通貨トヲ收縮シテ、事業ガ濫興ス
ル、投機思惑ヲ抑制致シマシテ、物價ノ低落ノ傾ヲ取ル、確
ニ有效ノ政策ニ相違ナシト考ヘル、吾々ハ兩三年前カラ此
議論ヲ唱道致シマシテ、政府ニ之ガ實行ヲ促シタノデアリマ
ス、然ルニ此内閣ハ一昨年ノ十二月——十一月二一回利
上ヲ行ヒマシテ、其以來ト云フモノハ、一年ノ間當テ其利上
ヲ行ハナイ、漸ク昨年十月、十二月ノ二回ニ於テ、各二厘
方ノ引上ヲ行フニ止テ居ル、然ラバ一昨年ノ十一月カラ
本年ノ十月ニ至ル一年間ニ於テ、日本銀行ノ利子ヲ引上
グベキ適當ナリハ無カトナデアルカト申シマス、其時機ハ
アツクデアアル、確ニアツクデアアル、然ラバ日銀ノ利上ニ適當
ナル時期ハ、何時デアツカト申シマスレバ、本員ノ考デハ昨
年ノ五月頃ガ、是非トモ日銀ノ利上ヲ行ハナケレバナラヌ必
要ナル時期デアリタト云フコトヲ確信スルノデアリマス、五月
頃ニ一回行ヒマシテ、其後年末ニ至ルマデノ間ニ、數回ニ
互テ此利上ヲ行ヒマシタトキニ於テハ、確ニ當時旺盛ニ赴
キカテ居ル所ノ事業界ニ向テ、一杯ノ冷水ヲ浴セ掛ケル
投機思惑ノ熱狂スルコトヲ防イデ、昨年ノ下半期カラ本年
ノ初ニカテアツクデアラウト本員ハ確信致ス、(拍手起ル)果
シテサウ云フ政策ヲ執ラバ居リマシタナラバ、假令多少ノ反
動ハ免レナイト致シマシテモ、今日ノ如キ非常ナル大混亂、
慘澹タル經濟界ノ光景ト云フモノハ、決シテ現レナカト
云フコトヲ本員ハ確信ヲ致シテ居ル、(拍手スル者アリ)倅
一昨年ノ十一月獨逸トノ休戰條約ガ締結サレマシタ以來
ト云フモノハ、我が經濟界ノ、一時稍、頓挫ノ姿ガアリマシタ
レドモ、昨年五月頃ニ至リマシテ、再び景氣ハ挽回シ、事
業ハ勃興シ、投機旺盛ニ赴クト云フ氣運ニ向テデアリマ
ス、是ハ株式ノ價格ガラ言ヒマシテモ、物價ノ傾カラ言ヒマ
シテモ、事業計畫資本ノ金額カラ言ヒマシテモ、昨年五月
頃ガ、此氣運ハ明カニ之ヲ看破スルコトハ、出來タ筈デア
ル、若シ此當時ニ於キマシテ、日銀ノ利上ヲ行ヒマシテ、財界ノ
將來ニ向テ警戒ノ鐘ヲ鳴ラシ、投機思惑ノ氣勢ヲ挫イテ
置キマシタナラバ、斷ジテ今回ノ如キ悲惨ナル事件ハ發生
シナカッタデアアル、然ルニ政府ハ其當時ニ行ヒマセヌバカ
リジヤナイ、却テ其前月、四月ノ二十三日ニ於テ、大藏大臣
ハ大阪ニ出張サレ、關西銀行大會ノ席上ニ於テ、彼ノ有名
ナル樂觀演說ヲサレタノデアアル、(ヒヤ——)ト呼ビ、拍手ス
ル者アリ)利上ヲ行フテ財界ニ警戒ヲ與ヘテ、投機思惑ノ旺盛
ナルコトヲ抑付ケテ置クベキ其時ニ於テ、却テ反對ニ政府
ハ樂觀ノ演說ヲヤテ、財界ノ前途又復タ憂フベキナシト云

フ信念ヲ經濟界ニ與ヘタ、(株屋ノ提燈持ダ)「樂觀大臣
ダ」ト呼フ者アリ)是ニ於テ大藏大臣ノ言明デアリマス、非
經濟界ノ前途ニ於テ、非常ナル安心ヲ得タノデアリマス、非
常ナル安心ヲ得タ結果、事業熱ノ投機熱ガ盛ニ起リ、此
演說ガ投機ノ煽揚ニ向テ、時節柄多大ノ效果ガアツタト云
フコトハ、獨リ本員ノ一家言ノミデアリマセヌ、經濟界全
體ノ定論デアアル、然ラバ其後ニ於テモ利上ヲヤルカト思ウ
居ルト云フト、八月ノ六日ニナリマシテ大藏大臣ハ例ノ覺
書、其覺書ヲ發行致シマシテ、堂々ト日本銀行ノ金利ノ引
上ニ反對ノ意見ヲ發表セラレタ、此大膽ナル態度ニ就キマ
シテハ、世上ノ識者ハ悉ク眉ヲ蹙メタノデアアル、唯ダ喜ン
者ハ虛業家ト株屋ノミ、(拍手起ル)經濟界ハ是ニ依テ一
大安心ヲ得テ、愈、大手ヲ揮フ盛ニ狂奔ヲ續ケタノデア
リマス、是デモ政府ハ向ホ投機ヲ煽揚シナイト仰シヤルカ、其
後二十月、十一月ノ二回ニ互リマシテ、前申シマシタ通り二厘
方ノ引上ヲ行ヒマシタレドモ、其時ハ時機既ニ遅レ財界ノ
熱狂ハ殆ト沸騰點ニ達シテ居ル、二厘方ノ引上ヲヤテタ所デ、
何等ノ效果ノアルベキ筈ヘナイ、遂ニ經濟界ノ大勢ヲ挽回ス
ルニ至ラナカッタデアリマス、倅日本銀行ノ利上ニ對スル
大藏大臣ノ態度ハ、右申シマシタ通り如何ニモ不可解千萬
デアアル、大藏大臣ノ日銀ノ利上ニ對スル心理狀態ハ、藏相
自身デナケレバ、局外者カラハ何人モ忖度スルコトハ出來
セヌ、宛モ角モ適當ナル時機ニ於テ利上ヲ行ウテ、警戒ヲ與
ヘルト云フコトヲシナイ、却テ利上ニ反對ノ態度ヲ宣明ス
事實ノ上ニ於テ投機思惑ヲ煽揚シテ、財界ノ反動ヲ大ナ
シメタト云フ點ニ於テハ、何トシテモ其責任ヲ通ル、コトガ
出來ナイ、此點ニ就テハ藏相ノ一昨々日ノ演說ニ國民ノ用
意ガ足リナカッタト云フコトヲ御責メニナル前ニ、先ツ藏相
自身ノ注意ノ足リナカッタト云フコトヲ、自ラ御責メニナル
ガ宜シイ、(故意ニヤツタノダ)ト呼フ者アリ)吾々ハ在野黨ハ固
ヨリ天下ノ識者ハ、通貨ノ收縮物價調節ノ爲メニ、有效ナ
ル政策トシテ政府ノ實行ヲ促シタモノハ、右申シマシタ所ノ
外ニ尙ホ澤山アツタノデアリマス、例ヘバ海外放資ノ如キ在
外正貨ノ處分ノ如キ、小額勸業債、小額貯蓄債券發行
ノ如キ例ヲ舉ゲテ政府ノ採用ヲ促シマシタレドモ、政府ハ
其一ツスラ採用スルコトガ出來ナカッタ、斯ノ如クニ政府ガ
各方面ノ警告ニ遭ヒマシテ、通貨ノ收縮、物價調節ノ爲メ
ニ、有效適切ナル政策ノ實行ヲ促サレタルニ拘ラズ、依然ト
シテ其政策ヲ實行シナカッタ、其本當ノ理由ニ至テハ今日
ニ於テモ尙ホ不明デアリマス、甚ダ不明瞭デアリマス、或ハ政
略上ノ必要、或ハ黨略上ノ必要カラ、知テ居リナガラ之ヲ
行ハナカッタト云フ批評モアリマス、(拍手)本員ハ倅ニ左
様ナ事ヲ信ジタクハアリマセヌ、本當ノ理由ハ宛モ角モト致

シマシテ、表面ノ理由トシテ政府ガ言明スル所ニ依リマレバ、
通貨ノ膨脹ハ外國貿易ノ關係上、輸出超過ノ結果デア
ル、ソレ故ニ有效の二通貨ヲ收縮シテ、物價ノ調節ヲ圖ルガ爲
メニハ、其根本ニ適テ外國貿易ニ制限ヲ加フルハナ
然ルニ貿易ニ制限ヲ加フルトキニハ、經濟界ニ急激ナル變
動ガ起リ、急激ナル不景氣ガ來ルニ依テ、是ハ避ケナケレバ
ナラヌト云フ一點ニ在ルヤウデアリマス、此理由ハ總理大臣
ガ機會ノアル毎ニ、各所ニ於テ言明ヲサレテ居ル、又一昨々
日ノ演說モ、大體此趣意ニ外ナラナカッタと思フノデアリマ
ス、斯ノ如キ議論ハ、吾々ハ前カラ承テ居タノデアリマス、
尙ホ此議論ニ對シマシテ、吾々ハ其當時カラ外國貿易ヲ制
限スルコトナクシテ、通貨ノ膨脹ヲ抑ヘルコトノ出來ル方
法ガアル、ソレハ即チ海外放資デアアル、輸出超過ノ結果トシ
マシテ、外國カラ取テ來ルベキ正貨ヲ其儘外國ニ留メテ置
キ、外國ノ事業、或ハ有價證券ニ放資ヲ致シマス、ナラバ
通貨ノ膨脹ヲ抑ヘルコトガ出來ル、此仕事ハ當然民間ニ於
テ行フベキモノデアリマス、我ガ民間ノ人々ハ外國
放資ノ經驗ガ少イ又内外ノ金利ノ開キモアル、爲替ノ危險
モアル、其結果トシテ民間ノ人々ハ徹底的ニ行フコトガ困
難デアルカモ知レヌ、其場合ニ於テハ已ムコトヲ得ヌシテ、政
府ガ自ラ責任ヲ執ラ、公債ヲ募集ヲ致シテ、ソレニ依テ海
外ニ放資スルガ宜シイト云フ事ヲ方法マデ示シマシテ、政
府ニ之ヲ促シタノデアリマス、然ルニ政府ハ十分ニ吾々ノ警
告ニ對シテ頭ヲ傾ケナイ、遂ニ思フ通りニ實行ヲ致サナ
カッタデアリマス、他人ノ言フコトハ餘リ用キズシテ、何時マデ
モ通貨ノ收縮物價ノ調節ヲヤラントセバ、極端ニ貿易ヲ制
限セナケレバナラヌ、貿易ヲ制限スレバ俄ニ不景氣ガ來ル、
ソレデモ構ハヌカト云フガ如クニ國民ヲ會シテ置イテ、遂ニ
通貨ノ膨脹ヲ自然ニ放任ヲ致シテ、今日ノ如キ成行ニ立
至タノデアリマス、是ハ寧ろ當然ノ結果デアリマシテ、一昨
日ノ演說ニ於テ原總理大臣ハ、圖ラズモ近來動搖ヲ見タリ
ト云ハレマシタレドモ、是ハ圖ラズモデハナイ、判リ切
居タ事デアアル、(ヒヤ——)「拍手」若シ原君ノ言ハレタ如ク本
當ニ圖ラズモデアラバ、是ハ隨分不明ノ議ヲ免レヌ、(拍
手)若シ圖ラズモデアラバ、豫見ヲシテ居タレドモ、豫防
スルコトガ出來ナカッタト云フナラバ、是ハ政府トシテ無能、
若クハ無誠意ト云フ議ヲ免レヌノデアアル、本年一月ノ議會
ニ於テ、政府ハ所得稅法案ヲ提案サレマシタコトハ、財界ノ
反動ニ對スル追擊戰デアアル、其當時我が財界ハ前カラノ成
行ニ依リマシテ、殆ト緊張ノ極ニ達シテ累卵ノ危キニ在
タノデアリマス、此時ニ於テ何事カ一ツノ衝動ガ經濟社會ニ
起リタ時ニ於テハ、此卯ハ美事ニ演レルノデアアル、其時ニ於
所得稅法ハ提案サレタノデアアル、此政府ノ提案ノ結果ト致

シマシテ、株式界金融界ニ向テ容易ナラザル動搖ヲ及ボシ
ソレガ爲メニ財界ノ反動ヲシテ、斯ノ如クニ、急激ニ、斯ノ如
クニ深刻ニ來ラシメタト云フコトハ、天下定論ノ存スル所デ
アルハ、六月ノ二十七日政友會ノ臨時大會ノ席上ニ於テ、原
首相ハ政友會ノ總裁トシテ演說ヲサレタノデアリマス、其演
說ノ中ニ左ノ一節ガアタノデアリマス、財界ノ近況ニ就キ
一言センニ反對者ハ種々ノ論議ヲ試ミタルガ如シト雖モ若
シ反對黨ガ其當時唱道シテ居タヤウナ政策ヲ施行シタリ
シナランニハ此經濟界ノ動搖ハ今日ノ比ニアラザルベシ、其
通り其通りト呼フ者アリ、而シテ之ヲ救済スルコトモ亦或ハ
不可能ナリシナランカモ知ルベカラズ、痛カラウト呼フ者アリ
幸ニシテ吾々ハ斯ノ如キ政策ヲ執ラナカッタガ故ニ今回
ノ動搖アリトスルモ、相當ノ處置ヲ講ジ之ガ救済ヲ爲ス所
ガアルカラ、遠カラズ其效果ヲ見ルデアラウ、其通りト
呼フ者アリ、諸君、反對黨ガ唱道シテ居タ如キ政策ヲ行
タナラバ、財界ハ今日以上ノ動搖ヲ來スト云フコトヲ、ヒヤ
ヒヤト呼フ者アリ、原君ハドウシテ判ルカ、其通りト、君ニハ
判ルマイト呼フ者アリ、サウ云フコトガ原首相トシテ判リマ
スカ、ヒヤト呼フ者アリ、オ前ニハ判ラヌカト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 靜ニナサイ

○濱口雄幸君(續) 自分ノ放漫政策ノ結果、自分ノ放
任主義ノ結果トシテ、ソレヲ放任シテ置ケバ、今回ノ如キ大
混亂ガ起ルト云フコトヲ原首相トシテ判ラナカッタ、原
君ノ言葉ハ全ク一場ノ負擔ニ過ギナイ、ヒヤト呼フ
者アリ、拍手起ル、恰モ七歳カ八歳ノ子供ガ、君ノハ泣
言ニ過ギナイト呼フ者アリ、喧嘩ヲスル時ニ使ウヤウナ負
惜ニ過ギナイ、一國ノ總理大臣タル者ガサウ云フ言葉ヲ口
ニスベキモノデナイ、ヒヤト呼フ者アリ、拍手起ル、全
體財界ノ不景氣ハ、常ニ好景氣ノ反動デアルト云フコトハ、
是ハ諸君モ御異論ハアリマス、果シテソレニ御異論ガナ
イトスルナラバ、好景氣ノ時ノ程度ガ低カッタナラバ、其反動
トシテ來ルノ景氣ノ程度モ、亦低イモノデアルト云フコトモ
御異論ハアルマイ、ヒヤト呼フ者アリ、之ニ反シテ好
景氣ノ程度ガ甚シカッタナラバ、其反動トシテ來ル所ノ不景
氣ノ程度モ亦激烈デアルト云フコトハ、是ハ當然ノ理數、
(拍手)當然ノ法則デアル、ヒヤト呼フ者アリ、誰モ御
異論ハアリマス、然ルニ此兩三年ノ間、我が經濟界好
景氣ノ程度ハ、随分ヒドカッタデアリマス、(好カッタジ
ヤナイカ)ソレガ好イノジヤ、ヒヤト呼フ者アリ、寧ろ好景
氣ト云フコトハ、ズト通り越シテシマッテ、屢々吾々ガ言フ通
リ、所謂投機、思惑、旺盛ノ熱狂時代デアタノデハナイカ、
(ヒヤ)ト呼フ者アリ、然ルニ政府ハ此熱狂時代ヲ其

儘ニ放任シテ置イテ、前申シテ通り何等有效適切ナル政
策ヲ行ハナカッタ、ソレガ爲メニ其反對トシテ來タ所ノ不景
氣ノ程度ガ、今日ノ如ク急激ニ、深刻ニ、最早不景氣ト云
フ程度ハ遙ニ通り越シテ、御覽ノ通り財界全體ノ大動搖、
大混亂トナタ、或ハ恐慌ニ陥ル虞ガアルト云フノデ、國民
ハ大ニ心配シテ騷迴テ居ルデハナイカ、諸君モ騷迴テ居
ルデハナイカ、(ノウ)君等ガ騷迴テ居ルノデ、ト呼フ
者アリ、惟フニ政府モ定メテ此事ニ就テハ御心配デアリマセ
ウ、否ナ御心配ニナルノガ當然デアル、唯ダ御心配ダケデハ
國民ニ對シテ申譯ハアリマス、(簡單)ト呼フ者アリ、國
民ハ齊シク立ッテ、國民ハ齊シク立ッテ内閣ノ責任ヲ問ウ
テ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ深ク御心配スル模様モ
見エナイ、況ヤ露々タル國民ノ非難攻撃ニ對シテ、責任ノ
觀念ナドハ無イモノト見エル、ヒヤト呼フ者アリ、却テ
今申シマス通り幸ニ、幸ニ政府ガ反對黨ノ言フ通りノ
政策ヲ行ハナカッタカラ、此ノ位ノ動搖デ済ンデ仕合デア
ルト云フガ如キ、其通りト呼フ者アリ、却テ手柄顔ヲ
致シテ、手柄顔ヲ致シテ、詰ラヌ太平樂ヲ列ベテ居ルト
云フコトハ……

〔此時發言スル者多ク、議場騷然〕

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ……

○濱口雄幸君(續) 寔ニ言語道斷、無責任ノ極デアルト
思フノデアル、此場合吾々ハ多ク論ズル必要ハナイノデアリ
マス、此兩三年ノ間政府ト吾々トハ、二年間三年間ニ互ニ
議論ヲ續ケテ來タノデアリマス、此議論ノ爭點ハ約メテ申シ
マスレバ、極メテ簡單明瞭デアル、政府ノ言フ所ニ依レ
バ、政府ノ言フ所ニ依レバ、通貨ヲ收縮シ、物價ヲ調節
スレバ、經濟界ニ動搖ガ來ル、急激ノ不景氣ガ來ルニ依テ
之ヲ行フコトガイケナイト云フノガ政府ノ主張デアル、此見
解ニ基イテ、政府ハ此見解ニ基イテ、放任主義ヲ執ッタノ
デアリマス、(更ニ判ラヌ)百姓默レト呼フ者アリ、吾々ノ
主張スル所ノ通貨ヲ收縮シ、物價ヲ調節シナケレバ、他日
非常ノ反動ト不景氣ノ時ガ來ル、財界ニ恐レベキ大動搖ヲ
生ズルガ故ニ、此通貨ヲ收縮ヲ行ハナケレバナラヌト云フノ
ガ、吾々ノ主張デアタノデアル、抑此戰ハ二年ノ間續イタノ
デアリマスガ、諸君、今日ハ如何デアルカ、今日ハ所謂事實
ノ審判ニ依テ、明ニ勝敗ハ決セラレタノデアリマス、(拍手起
ル)敗軍ノ將ハ兵ヲ語ルベカラズ、默テ居ルガ宜シイ、是デ
モ政府ハ向ホ放漫政策ヲ悟ラナイノカ、(敗軍ノ將トハ何
ダ)ト呼ヒ議場騷然、原總理大臣ハ再び此壇上ニ於テ、政
友會臨時大會ニ於テ述べタ言葉ヲ繰返ス勇氣ガアルカ、
之ヲ要スルニ……

〔敗軍ノ將トハ何ダト呼ヒ議場騷然〕

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……

○濱口雄幸君(續) 之ヲ要スルニ過去二年ノ間、經濟界
ノ非常ナル好況時代ニ際シテ、一ハ以テ國民生活ノ不安
ヲ除キ、一ハ以テ他日ノ恐レベキ反動ヲ豫防緩和スルガ爲
メニ……

〔此時發言スル者多ク、議場騷然〕

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ……

○濱口雄幸君(續) 反動ヲ豫防緩和スルガ爲メニ行フベ
キ經濟政策ニ就テ、何等ノ自信ヲ有シテ居ナカッタ、何等自
信ヲ持テ居ナカッタノデアル

〔議場騷然〕

○議長(與繁三郎君) 諸君、靜肅ニ……

○濱口雄幸君(續) 何等ノ自信ヲ有シテ居ナカッタ云フ
コトハ、其當時ノ首相ノ答辯ニ依テ、明瞭ナル事柄デアリマ
ス

〔敗軍ノ將兵ヲ語ルニアラズ〕辯明シロ、議長、議
場ノ整理ハドウスルカト呼フ者アリ

○濱口雄幸君(續) 有效適切ナル政策ヲ行ハントスレバ
即チ經濟界ニ不測ノ變動ノ來ルコトヲ恐レ行フマイトスル
ナラバ、即チ世論ノ攻撃ヲ恐レル、斯ノ如クニシテ行フトモ
付カズ、行ハヌトモ付カナイ、此時發言スル者多シ

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ……

○三木武吉君 議長

○議長(與繁三郎君) 三木武吉君

○三木武吉君 議場ヲ整理ヲナサイ、議場ノ整理ガ出來
テ居リマス

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ……

〔敗軍ノ將トハ何ダ、取り消セト呼ヒ發言スル者多シ〕

○議長(與繁三郎君) 中島君、御尋ノ事ガアルナラバ、後
ニナサイ

○濱口雄幸君(續) 之ヲ要スルニ現内閣ハ過去二年ノ
間經濟界ノ非常ナル好況ニ際シテ、國民ニ對スル……

〔敗軍ノ將トハ何ダ〕取消スカ、續ケルカ言ヘト呼
フ者アリ、議場騷然

○議長(與繁三郎君) 諸君靜肅ニナサイ、質問ガアルナラ
バ後トニナサイ

〔敗軍ノ將トハ質問ノ言葉デハナイト呼フ者アリ〕

○濱口雄幸君(續) 現内閣ハ過去二年ノ間、非常ナル財
界ノ好況時代ニ際シテ、一ハ以テ國民生活ノ不安ヲ除キ、
(イカヌ)ト呼フ者アリ、一ハ以テ他ノ恐レベキ反動ト
云フモノヲ、輿論ヲ緩和スルガ爲メニ行フベキ經濟政策ニ
就テ、(議場騷然)何等ノ自信ガナカッタノデアリマス、何

等ノ自信ヲ有シテ居ラナカクデアリマス(「失言ヲ取消セ」
「何が失言か」ト呼ヒ、其他發言スル者アリ、議場騷然)有
效適切ナル政策ヲ行ハントスレバ、乃チ他ノ一面ニ於テ不
測ノ反動ガ來ルト云フコトハ、漫リニ心配ヲ致シ(「議長議
長」發言ヲ妨害スルノ何故制止セヌカト呼フ者アリ)其
政策ヲ行ハザラントスレバ世論ノ攻撃ヲ恐レ、(「敗軍ノ將
トハ何ゾ」ト呼フ者アリ)ソレハ後カラ申シマス——斯クテ有
效適切ナル經濟政策ヲ行ハズ、(「何が敗軍シタンドヨ」與
論ニ聽イテ後判斷シロ」ト呼フ者アリ、議場騷然)有效ナル
政策ヲ行フトモ即カナイ、行ハナイトモ即カナイ(議場騷然)

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ……

○濱口雄幸君(續) 有耶無耶ノ間ニ烏登付キ廻テ居
テ……(議場騷然)

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ……
○濱口雄幸君(續) 遂ニ不測不徹底ニ陥リ、一轉シテ無
爲無策ニ流レタデアリマス、(拍手起ル)加フルニ政府ノ内
部ニ於ケル不統一ハ——政府内部ノ不統一ハ、大藏大臣獨
特ノ樂觀的態度ヲ抑ヘルコトガ出來ナイデアリマス、(「ヒヤ
ヒヤ」ト呼フ者アリ)拍手起ル、再轉シテ投機ヲ煽揚スル結
果ニナクデアリマス

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
呼ヒ其他發言スル者アリ、議場騷然)

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
〔高見之通君〕議長進行ニ就キ發言ヲ求メマス、其
發言ヲ求ムル事タルヤ……ト呼ヒ其他發言スル
者アリ、議場騷然)

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
〔取消セ……ト呼フ者アリ、議場騷然〕
〔佐々木安五郎君〕議長ハ議場ヲ整理スベシト呼フ

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
〔高見之通君〕議長、發言ヲ求メマス——失言ニ就
テ發言ヲ求メマス、各派交渉會ニ於テ……何ヲ
言フノゾ議長、許可ナクシテ發言ガ出來マスカ
〔退場ヲ命ズベシト呼ヒ、議場騷然〕

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
〔高柳覺太郎君〕高見之通君ヲ懲罰事犯ニ付スル
ノ動議ヲ提起シマスト呼ヒ、賛成々々ト呼フ者ア
リ

○議長(奧繁三郎君) 發言中デス
〔高柳君ノ動議ハ成立シマシタ〕採決々々ト呼フ
者アリ、議場騷然)

○議長(奧繁三郎君) 靜ニシナサイ
○濱口雄幸君(續)再轉シテ事業熱、投機熱、思惑ヲ煽揚ス
ルノ結果ニ陥リタデアリマス、而シテ其極途ニ急激ニシテ
深刻ナル反動的ノ不景氣ヲ招イデ、遂ニ今日ノ如キ財界ノ

大動搖、大混亂ヲ惹起シタデアリマス、(拍手起ル)斯ク論
ジマスレバ、今回ノ財界ノ大混亂ノ原因、竝ニ其責任ノ歸
スル所ハ、殆ンド疑フ容ル、ノ餘地ガ無イト存ジマス、之ニ對
シテ政府ノ所見如何ト云フコトヲ御尋致シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 田中陸軍大臣
〔高柳君ノ動議ハドウシタ〕ト呼フ者アリ、議場騷
然)

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ——田中陸軍大臣
〔三木武吉君〕高柳君ノ動議ニ賛成ガアリマスト
呼フ

○議長(奧繁三郎君) 何デス
〔三木武吉君〕高柳君ノ動議ニ成規ノ賛成ガア
リマス、之ニ對シテ如何ナル採決ヲ爲サルカト呼
フ

○議長(奧繁三郎君) 靜ニ——高柳君ハ議長ノ許可ナク
シテ喋リテ居ル許可シテ居リマセヌ——田中陸軍大臣
〔國務大臣田中義一君登壇〕
〔責任ノ點ニ就テ、ハッキリ答辯ヲ願ヒマス〕「サーベ
ルガ泣クゾ」ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ
○國務大臣(田中義一君) 唯今濱口君ノ御尋デアリマ
ス、豫算總會ノ終リニ於テ、早速君ニ私が御答シタ事ニ
就テ、重テ御質問ニ對シ、私ハ此所デハハッキリ答辯シテ
置キマス

〔ドウゾ〕「シカリ」男ラシク「默レ」謹聽ト呼フ者
アリ

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ
○國務大臣(田中義一君) 唯今濱口君ガ速記録ヲ
御讀ミニナク通り「之ニ悲マレタ」御言葉ハ拜承ヲシタノ
デアリマスガ、一言半句其責ヲ如何ニスルト云フコトニ付テ
ノ辯明ヲ聞カヌハ甚ダ遺憾トスルデアリマス云々(「其
通り」ト呼フ者アリ)内閣ガ更ニタヤウナ例モ、餘所ノ國ニハ
アリマスルデアリマス、斯ル悲惨ナ出來事ニ付テ一人ノ責
ヲ取ラス、皆其責ヲ讓テ仕舞フト云フコトニナクナラバ、國
民ハ決シテ満足ヲ表セヌデアラウト私ハ思フ、誰ガ惡イ、參
謀本部ガ惡イノカ、外務省ガ惡イノカ、總理大臣ガ惡イノカ
誰カ惡イノカ其責任ノ徑路ヲ明ニシテ置キタイト云フノデア
リマス、——責任ノ徑路ヲ明ニシテ置キタイト云フノデア
リマス(併シ聯帶デス)「默レ」謹聽々々ト呼フ者ア
リ(ソコデ私ハ斯ノ如ク申シタデアル)唯今阪谷男爵ヨリ
ノ御尋デアリマス、先ヅ責任ノ事ニ付テノ御尋デアリマス、
私ハ陸軍大臣トシテ、苟モ陸軍ニ關係スル事ハ全責任ヲ私
ガ帶ビマス、決シテ責任ヲ回避ハ致シマセヌガソレカラズト

經過ヲ述ベタデアリマス、終リノ方ニ「私が經過ノ概要ヲ
申シマスルノデ、決シテ陸軍大臣トシテノ負フベキ責任ヲ回
避スルノデアリマセヌカラ、其ノ御積リデドウカ御聽取ヲ
願ヒマス」私ハ苟モ陸軍ニ關係シタ事ハ、何事ニ依ラズ參謀
本部ガ致シタ事デアラウガ、何デアラウガ、私が責任ヲ帶ビル
ノデアリマス、而シテ(用兵上ノ責任モ帶ビルカト呼フ者ア
リ)固ヨリノ事、而シテ私が苟モ今日マデ何レノ場合ニ於テ
モ、陸軍ノ爲シタ事ガ怠慢過失ト言ウタコトハアリマセヌ、
未ダ會デアリマセヌ、又私が自ら過失怠慢ト云フコトヲ信ジ
ナイモノガ、如何ニシテ諸君ノ想像セラル、如ク、直チニ之ガ
私が辭職スルト云フヤウナ言葉ガ出マスカ、私ハ苟モ陸軍
大臣デアル、數万ノ陸軍軍人ヲ統督シテ居ル私デアル、苟
モ自分ガ之ヲ過失デナイト信ジテ居ル、所信ヲ枉ゲテ政治
的ニ、又人ノ毀譽褒貶ニ惑ハサレ、輕々シクサウ云フ事ヲ言
フモノデナイデアリマス、若シ濱口君ノ言ハレタ如ク、私が
責ヲ引テ辭職スルト云フコトデアッタラバ、苟モ國務大臣
ガ議場ニ於テ其言ヲ發シタナラバ、今日貴下方ニ御目ニ懸
リハ致シマセヌ、(「明瞭々々」ト呼フ者アリ)其意味ニ
於テ、確ト御答申シテ置キマス、ソレカラ尙ホ國防問
題ニ就テ第二ノ御尋デアリマス、國防問題ヲ提ゲテ
居リナガラ、何が故ニ政府ノ解散ト云フコトニ同
意シタカト云フコトデアル、而シテシテハ四箇月間遲延ヲ
來スノデハナイカ、成程四箇月間遲延ヲ來スト云フコトハ
御説ノ通り何等疑ノ無イ事デアル、サリナガラ陸軍ノ此國
防ノ計畫ト云フモノハ、即チ十二月ノ徵兵ノ入替ノ時カラ
仕事ノ端緒ガ開ケルノデアリマス、是ガ四月カ七月ニナラウ
トモ、十月ニナラウトモ、苟モ準備ト云フ事ニ多少ノ何ハアリ
マスケレドモ、之ヲ一年延スト云フ事ハ、大ニ意味ガ違フ
ノデアル、ミナラズ要塞ノ整理ト云フ事ノ如キモ、成程濱口
君ノ言ハレタ如ク、若干其間ニ於テ工事ニ聊カ缺クル所ガ
アルニ相違ナイノデアル、ケレドモ之ヲ更ニ二十一年トナリ、三
年トナリニ於テ之ヲ補填シテ行ケバ、大體ニ於テ遲緩ハセヌ
ノデアリマス、而シテ尙ホ諸君ニ私ハ特ニ申上ゲタイト思フ
ノハ、苟モ身ガ閣僚トナッテ居テ、何レノ内閣デアラウトモ、
或ル程度ニ忍ビ得ベキ事ハ、其内閣ハ協調ヲ保ッテ行クト
云フコトハ、閣員ノ義務ト心得マス、何等此事ヲ言フヲ憚ル
コトハナイデアリマス、是ガ御答ヲ致シテ置キマス

〔議長々々、議事ノ進行ニ就テ發言ヲ求メマス〕ト
呼ヒ發言スル者多シ

○議長(奧繁三郎君) 紫安君、何デスカ
○紫安新九郎君 議事ノ進行ニ就テ、陸軍大臣ノ今ノ演
説ニ就テ發言ヲ求メマス

〔無用々々ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 紫安君ニ發言ヲ許シマス

〔紫安新九郎君登壇〕

○紫安新九郎君 唯今陸軍大臣ハ、私ハ陸軍大臣トシテ、數十萬ノ軍隊ヲ統率シテ居ルコト云フ意味ノ事ヲ御述ベニナリマシタ、是ハ私ハ怪シカラヌ語デアリト思フデアリマス、何トナレバ、一靜ニ御聽ナサイ、數十萬ノ兵士ヲ統率スルト云フコトハ、是ハ憲法上ニ於ケル、憲法第十一條ニ規定セル、陛下ノ統帥權ニ屬スル所デアリマス、憲法第十一條ニ於ケル陸海軍ノ統帥權ハ、陸軍ニ於テハ參謀總長之ニ當リ、海軍ニ於テハ軍令部長、之ニ當ルト云フコトハ、憲法ニ明ニ規定シテ居ル所デアリ、陸軍大臣ガ數十萬ノ軍隊ヲ統率シテ居ルト云フコトハ、憲法上ノ根據ハ、何所ニ在ルデアアルカ、之ヲ私ハ陸軍大臣ニ明答ヲ求メントスルモノデアアル

○議長(奥繁三郎君) 紫安君御待チナサイ、諸君ニ御諮リ致シマス、諸君ニ御諮リ致シマス、紫安君ハ、議事ノ進行ニ就テ發言ガアルト云フコトデシタガ、唯今演壇ニ登ラレテ議長ニ答ヘラレル所ニ依リマスレバ、唯今ノ陸軍大臣ノ說明ニ對シテ質疑ガアルカラ、許シテ吳レト云フコトハ、(ノウウト)ト呼フ者アリ、諸君ニ諮リマス、諸君ニ諮リマス、院議ニ問ウテ許スト云フコトニ致シタイ、許スベシト云フ御意見ノ方ノ起立ヲ求メマス、(間エマセヌ)ト呼フ者アリ、議場騷然、(許スト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス)何ダカ判ラナイ、議長々々、少數々々、下レ、ト呼フ者アリ、議場騷然)

〔賛成者起立〕

○議長(奥繁三郎君) 少數デアリマス

〔少數々々ト呼フ者アリ、議場騷然〕

○大岡有造君 議長議長

○三木武吉君 議長議長

○大岡有造君 議事ノ進行ニ就テ發言ガアリマス

○議長(奥繁三郎君) 大岡有造君

〔大岡有造君登壇、拍手起ル〕

○大岡有造君 私ハ(何ダ)ト呼フ者アリ、議場騷然、御聽ナサイ、議事ノ進行ニ就テ發言ガアリマス、(何ダ)登壇シタ、降リ、議長々々ト呼フ者アリ、議場騷然、議事ノ進行ニ就テ發言ガアリマス、(何ダ)判ラナイト呼フ者アリ、議場騷然、議長宜シク宣告スベシ、私ハ、議事ノ進行ニ關シテ發言ガアリマス、議長ガ許シタノデアリマスカラ、說明ヲスベキデアリマス、(判ラナイ)何ノ發言ガアルノカト呼フ者アリ、議事ノ進行ニ關シテアリマス、此事ヲ說明スル(何ノ發言デスカ)何ダ登壇シタト呼フ者アリ、議場騷然、議事ノ進行ニ就テノ發言デアリマス、(謹聽々々)降

リ、ト呼フ者アリ、議場騷然、私ハ議事ノ進行ニ關シテノ發言デアリマスカラ、諸君ノ御聽ヲ乞ヒマス、(判ラヌ)何ノ發言デスカ意味ガ判ラヌト呼フ者アリ、議場騷然、私ハ唯今議長ガ、謹聽々々、默レト呼フ者アリ、議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ御聽ナサイ

○大岡有造君(續) 紫安新九郎君ニ發言ヲ許シタノハ、議事ノ進行ト云フニ依テ、議長ハ許サレタコトヲ私ハ知ッテ居ルノデアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、然ルニ國務大臣ニ質疑ガアルカラ許シタト云ハレル議長ノ宣告ハ、其當ヲ得スト思フデアリマス、(ヒヤ)判ラヌト呼フ者アリ、諸君ガ能ク御聽ニナレバ徹底スル事デアリマス、唯今紫安君ハ發言ノ權ヲ得タノハ、議長ニ於テ許サレタニ相違ナイト思フデアリマス、其議長ガ紫安君ニ發言ヲ許シタノハ、議事ノ進行ニ關シテ許シタノデアリ、(何ノ發言デスカ判ラヌ)何ノ發言カト呼フ者アリ、議場騷然、議長ノ宣告ヲ確ニシテ賞ヒタイノデアリマス、(判リマセヌ)降リ、ト呼フ者アリ、議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……(議場騷然聽取スル能ハス)

○大岡有造君(續) 御判リナリマシタカ

〔三木武吉君、何ダ發言ヲ許シタノカ、少シモ徹底シテ居ラナイ、其通り〕判ラヌト呼フ者アリ、議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) ……(議場騷然聽取スル能ハス)

〔判ラヌ〕遣リ直シト呼フ者アリ、議場騷然)

○大岡有造君(續) 議長ノ宣告ハ徹底シナイ

〔三木武吉君、私ハ一寸御注意ヲ申上ゲマスガ、吾等ハ大岡君ガ何ダ故ニ發言ヲ許サレタノデアルカ、聊モ徹底ヲ致シテ居リマセヌカラ、更メテ議長ガ適當ノ方法ヲ御執リニナル方ガ宜シイト云フノデアリマス〕ト呼ヒ拍手起ル

〔徹底シテ居ラヌ〕ドン、ヤレト呼フ者アリ、議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 大岡君ハ議事ノ進行ニ就テノ發言デアリマス、(判ラヌ)退場ヲ命ズベシト呼フ者アリ、議場騷然)

〔三木武吉君、是ガ判ラヌノカ、更メテ御遣リナサイト呼フ者アリ、議場騷然)

○大岡有造君(續) 私ハ議事ノ進行ニ關シテ許可ヲ得テ居リマス、(横暴ナリト呼フ者アリ)横暴デハアリマセヌ、議事ノ進行ニ關シテ許可ヲ得テ居ルノデアリマス、(退場ヲ命ズベシ)ノウ、ト呼フ者アリ、議場騷然)

○三木武吉君 議長、議長

○議長(奥繁三郎君) 發言ヲ許シマセヌ

〔三木武吉君、私ハ議事ノ進行ニ關シテ私モ緊急動議ガアリマスト呼ヒ拍手起リ、退場ヲ命ズベシ〕退場々々ト呼フ者アリ、議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ニ就テ發言ヲ許シテ居リマス、ソレガ濟ンデカラニ……

〔三木武吉君、吾ニハ聊モ徹底致シテ居リマセヌト呼フ〕

〔ヤカマシイ、默レ〕議長ハ議場ヲ整理スベシ、ヤルベシト呼フ者アリ

○大岡有造君(續) ソンナニ諸君ガヤカマシク言フ程ノ問題デハナイ、此場合諸君ガ暫ク御靜聽ヲ下サレバ、容易ニ判ル事デアリマス、私ノ聞ク所ニ依レバ、紫安君ニ發言ヲ許サレタノハ、議事ノ進行ト云フ爲メデアリマシタカラ、私共ハ謹デ之ヲ聽イタノデアリマス、然ルニ何ゾ圖ラン、更メテ議長ヨリノ宣告ガ、大臣ノ演說ニ對シテ質疑ガアルカラト云フコトデ、復タ演說ヲ續ケタノデアリマスカラシテ、此許ス方モ宜シクナシ、此發言者モ宜シクナシカラ、暫ク此場ヲ下ラスベシト云フコトヲ私ハ言フノデアリマス、(拍手起ル)

○國務大臣(加藤友三郎君) 議長

○議長(奥繁三郎君) 加藤海軍大臣

〔國務大臣(加藤友三郎君) 軍事費ノ四箇月間運レルト云フコトニ就テ、濱口君ノ御質問デアリマシタ、御話ノ通り四箇月間運レルト云フコトハ事實デアリマシタ、御話ノ通り四箇月間運レルト云フコトニ同意致シマシタノハ、濱口君ノ述ベラレル通り、數億ノ大豫算ニ對シマシタ、數箇月間ニ要スル費用ハ、僅ニ數百萬圓ニ過ギナイノデアリマス、此數百萬圓ノ金ニ對スルダケノ仕事ハ、一兩年ノ内ニ恢復シ得ル確信ヲ以テ、議會ノ解散ニ賛成ヲ致シタノデアリマス、然ラバ濱口君ノ御話ニ依リマス、ト云フコト若シサウ云フ意味デアラナラバ、豫算ニ餘裕ガアルト云フヤウナ御話ガアッタヤウニ拜聽致シマシタ、(ソナナ事ヲ言ハナイ)默レト呼フ者アリ、餘裕ト云フ御話ガ唯今私ノ申スノ違フナラバ、濱口君ヨリモウ一遍御話ヲ願ヒタイ、(頭ガ惡イト呼フ者アリ)然ラバ餘裕ト云フ問題ニ就キマシタハ、別ニ御答ヲ致シマセヌ

○國務大臣(男爵高橋是清君) 議長

○議長(奥繁三郎君) 高橋大藏大臣

〔國務大臣男爵高橋是清君登壇〕

〔財界ノ擾亂者、出來損ヒノ達磨サン〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 無暗ニ評語ヲ發スルコトハ、御控

ヲ願ヒマス

〔人間が野卑タカラサウ云フコトヲ言フノダ〕ト呼フ者アリ

○國務大臣(男爵高橋是清君) 先列濱口君ヨリ重大ナル事柄ニ就テ御質問アリマシタ、甚ダ重大ナル事柄デアリマスルカラシテ、私モ十分ニ御答ヲ致ス積リデゴザイマス、併ナガラ豫メ諸君ニ願ヒ置キマスノハ、ドウカ私ノ言フ事ガ多少御氣障リガアリマシテモ、御妨ヲ爲サヌヤウニドウカ十分ニ言ハシメテ貰ヒタイ(シンナコトヲ君ニ言ハレル必要ガナイ)ト呼フ者アリ濱口君ノ述ベラレル所ヲ能ク綜合シ、其御質問ノ要所ガ何所ニ在ルカ謹シテ聴イテ居リマシタガ、要スルニ今日ノ經濟界ノ變動ノ來タノハ、畢竟二年前カラ政友會ノ一イヤ憲政會ノ諸君ハ其財界ニ就テノ種々ノ調節、或ハ通貨縮少ニ就テ意見ヲ述ベタガ、其憲政會ノ意見ヲ政府ガ採用ヲシナカッタカラシテ、斯ノ如キ變動ガ來タノデアル(其通り)ト呼フ者アリ此ニ歸著スルノデアリマス、若シ憲政會ノ言フ所ヲ實行シタナラバ、斯ノ如キ狀態ハ生ジナイノデアル、ソレヲ用井ズシテ生ジタノデアルカラ、此財界ノ動亂ノ原因トナシテ居ル、此責任ハ政府ガ當然持ツベキタラウ(無論サウダ)ト呼フ者アリソレデアリマスカラ、ハ眞面目ニ話サネバナラス、又眞面目ニ聴イテ貰ハネバナラス、第一ニ憲政會ノ諸君ハ、第四十一議會以來主義セラレタ所ハ、日本銀行ノ金利ヲ引上ゲヨ、郵便貯金ノ利率ヲ引上ゲヨ、サウシテ通貨ヲ收縮シロ、尙ホ其海上ニ放資セヨ、先ヅ要點ハ此四點ニ止テ居ルト思フ、物價調節、通貨收縮ト云フ問題ニ就キマシタハ、(大阪ノ樂觀演説ハ違フ)大阪ノ樂觀演説ト仰シヤッタガ、是マデ私ノ述ベタルコトガ、如何ナル場合ニ於テ、如何ナル目的ノ爲メニ、何ヲ言フタカト云フコトヲ、能ク御吟味サレナケレバ困ル、ソレヲ議會ノ初メヨリシテ、何レモ此豫算ニ就テ、或ハ歳入ガ積リ方ガ多過ギル、結局豫算ガ實行不能ニナル、公債計畫ハ實行ハ出來ナイ、斯ウ云フコトガ主論トナシテ居ル、ソレニ就テ豫算ノ歳入ハ斯クミデアル豫算デ、經濟界ガ斯ク斯クデアル、斯様ナ見込デアルカラシテ、歳入ハ豫算ノ通り取レルト政府ハ確信シテ居ル、公債モ亦斯クミノ事情デアルカラ、募集ガ出來ルト云フ見込ヲ持シテ居ルノデアル、何レモ將來ノ豫想ニ就テ議論ヲ關ハシタ譯デアル、サウシテ其執レノ論議ガ的中シテ居タカト云フコトハ、其後ノ事實ニ現レタルコトニ依テ明カデアル(ヒヤ)「拍手」大正八年度ノ豫算ハ四十一議會ニ於テ之ヲ議スルニ方テ、豫算實行不可能ナリト諸君ハ唱ヘタ、其原因ハ大正七年ガ即

チ好景氣ノ絶頂デアアル、今ヤ財界ハ將ニ下リ坂ニナラントシテ居ルノニ、樂觀シテ歳入ヲ餘計積テ居ルカラ、斯様ノ歳入ガ生ジヤウガナイト云フコトガ諸君ノ論デアッタ、私モ其時ニハ成程大正七年ハ絶頂デアラウ、今ヤ是カラ將ニ下リ坂ニ向ハントシテ居ルノデアルト云フコトハ、私モ同感デアッタ、恐ラク其當時多少經濟界ニ就テ注意シタ人ハ、戦後ノ反動期ハ何レ來ル、多分我國ノ好景氣ハ、大正七年ガ絶頂デアラウト云フコトハ、其當時多クノ經濟評論ズル人ガソコニ一致シテ居タヤウデアアル、ソレ故ニ私モソレニハ決シテ反對ヲシナイノデアアル、シナイケレドモ、元ト豫算ノ積リ方ハ斯クミデアアル、今後經濟界ニ於テ働イテ利益ヲ得ルモノハ、即チ大正四年五年ニ起テ所ノ仕事ガ是カラ働クノデアアル、ソレカラ諸君ノ言フヤウニ、是ガ不景氣ニナッテ來タカラト云ッテ、下リ坂ニナッタカラト云ッテ、歳入ガサウ減ル譯ハナイト云フコトヲ私ハ類リニ辯ジタノデアアル、又公債募集ニ對シテモ、國民ノ貯蓄ノ餘力ヲ準備シテ考ヘテ見マスレバ、其當時ノ募集額——又昨年ノ解散ニナッタ議會ニ出シタ豫算ノ時モ同ジ事ヲ論ジテ居ルガ、決シテ無理ナ積リ方ハシテナイ、アナタ方ノ言フヤウニ行詰ッテ、豫算ノ實行ノ出來ナイナド、云フコトハ、政府ハ思ヘテ居ラス(ソレハ政府ガ煽タカラダ)ト呼フ者アリ左様ニ私ガ申シタトナントモ變ラス、今日ノ御議論モ當時ノ御議論モ餘リ變ラナイ——煽タカラト云フコトヲ仰シヤルケレドモ、政府ハ決シテ煽タデモ何デモナイ、唯タ茲ニ於テ、ナゼ諸君ノ主張セラレタ事ヲ、一ニ政府ガ實行ヲシナカッタコト云フ理由ヲ一ニ是カラ述ベル、ドウカ靜ニ聴イテ戴キタイ、先ヅ此銀行ノ利率子ト云フ事カラ、如何ナル方針ヲ現政府ハ始メヨリ執ッテ居ッタカ、其事カラ言ハスト云フコトヲ判ラナイ、先ヅ從來ノ銀行界ニ於キマシテハ、銀行ガ互ニ金融ノ忙シクナル場合ニ於テハ、競争シテ預金ノ利率ヲ引上ゲテ、サウシテ甚シキニ至ッテハ、日本銀行ノ公定利率ヲ引上ゲテ、サウシテ甚シキニ又預金者ニハ特別ノ何カ贈物ヲシタリシテ互ニ競争シテ預金ヲ奪合タモノデアアル、斯様ナ狀態ガ續キマス云フコト、勢ヒ高イ利息デ金ヲ運用シナケレバ、其預金ノ高イ利率ヲ拂フ譯ニ行キマセヌカラシテ、銀行トシテハ知らズ識ラズ危險ノ多イモノニ、此預金ヲ放資スルト云フ現象ヲ生ズルト云フコトヲ、私ハ最も憂ヘタノデアアル、是ハ既ニ他ノ國ニ屢、モウ數十年前カラノ經驗ノアル事柄デアリマス殊ニ此不健全ナル貸出ヲスルト云フコトハ、多クノ場合財界好景氣ノ時ニ於テ現レル現象デアアル、ソコデ私ハ先ヅ此銀行ノ間ニ於テ、互ニ競争シテ、高イ利率ヲ拂ッテ預金ヲ奪合フト云フコトヲ止メナケレバ、今後如何ナル危險ナ狀態ニ我金融ガナルカ判ラス、何ヲ惜テモ、先ヅ此協定ヲ

圖ラセルノガ必要デアルト私ハ認メタ、併シハ法律デ強制ヲスル譯ニモ行カズ、何トシテモ其銀行家ノ自覺ニ依テ是ガ始メテ行ハレルノデアアル、法律規則デ表面決メマシテモ、斯様ナ事ハ幾ラモ潜リ途ガアッテ、實行ガムツカシイモノデアアル、矢張銀行家ガ心ヲ協セ、自ラ如何ニシテモツレガ必要デアリ、自衛ノ爲メニ必要デアルト云フコトヲ自覺シナケレバ、此事ハ行ハレナイノデアリマス、之ニ向ッテ大ニ苦心ヲ致シマシタ、併シ幸ニ銀行者ノ主ナル者ハ、其ノ是ナルコトヲ認メ自ラ進ンデ各地ノ要處々々ノ銀行組合ハ協定ヲシテ、遂ニ預金利率ノ協定ト云フモノガ出來タノデアリマス、ソコデ先ヅ此銀行者ガ好景氣ノ間ニ於テ預金ヲ奪合フト云フ弊害ハ、絶無トハ言ハヌガ、先ヅサウ云フ弊害ノ無イト云フコトニ就テ、安心スルコトヲ得タノデアリマス、第二ニハ凡ソ銀行ノ預金利率ト云フモノハ、貸出利率ノ標準ト常ニ多少ノ差額ヲ付ケテ置イテ、標準利率ガ上レバ、其差額ヲ以テ預金利率トモ上ル、標準利率ガ下レバ、矢張其差額ヲ維持シテ下ル、第二ハソコヘ來ナケレバナラスノデアアル、要スルニ金ヲ持シテ居ル人ガ銀行ノ預金ヲスルノハ利廻リノ上カラ云ヘバ、一番ノ利益デアルト云フ觀念ヲ一般ノ公衆ガ持ツト云フコトガ、最も大切ナデアリマス、金融界ノ基礎ヲ鞏固ニスルノニハ、預金者ハ銀行ノ預金ニ對シテハ、薄利ヲ得ルト云フコトニ甘ンズル、銀行者ハ又高利ヲ出シテ預金ヲ取ラヌト云フコトヲ、自衛ノ爲ニ守ルト云フコトガ最も必要ナノデアリマス、斯様ニナリマス云フコト、銀行ヘ金ヲ預ケル人達ノ利廻リヲ多クセンガ爲メニ、自ラ如何ナルモノニ投資シタラ宜イカト云フコトニ考ヘ及ボシテ來ル、或ハ何ノ株ガ宜イ、或ハ公債ガ宜イ、或ハ社債ガ宜イ、利廻リノ宜イモノヲ一般ノ公衆ガ希望スルヤウニナルノデアリマス、是ニ於テ始メテ預金者ガ責任ヲ以テ、此放資物デアル有價證券ヲ所持スルコトニナルノデアアル、左様ニナリマス云フコト、會社ヲ經營スル人モ、公衆ノ其信用ガ厚クナケレバ、社債モ十分ニ發行ガ出來ヌ、或ハ株券ノ募集モ出來ヌ、自ラ公衆ガ各事業ヲ直接又ハ間接ニ監督スルスルヤウニナリ、又其公衆ノ知識モ進ンデ來ルノデアリマス、若シ銀行ガ殆ト其國ノ公定標準利率ニ均シイ、或ハ其以上ノ利息ヲ拂ッテ銀行ガ金ヲ預カルト云フコトニナレバ、預金者ハ先ヅ何モ心配セズニ唯ダ銀行ヘ預ケテ置ク、入用ノ時ニハ出セルモノダ有價證券ナドヲ持ツヨリ、遂ニ樂ダト云フ考ガ從來アルノデアリマス、是ニ於テ銀行者ガ已ムヲ得ズ集メタ金ヲ以テ自ラ株ヲ持ツト云フヤウナ危險ナル狀態ニ金融機關ガ自然ト傾イテ來ル、或ハ株ヲ持タリ、或ハ地面ニ放資シテ固定シタリ、六箇月乃至一年ト云フ定期ノ金ヲ以テ、長ク經タネバ回收ノ出來ナイヤウナモノニ固定ノ放資ヲスル、サウ云

フヤウニ行クノデアリマス(「大キナ聲デ言ヘ、太キ身體ヲシテ大キナ聲ガ出ルノニ確カリヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 春日君靜ニ……

○國務大臣(男爵高橋是清君)(續) ソレ故ニ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フコトニ就テハ、先ヅ前申シタヤウナ考ヲ懷イテ居ルカラシテ、是ハ容易ニ引上ゲナカッタノデアリマス、抑、郵便貯金ナルモノハ、預入ガ何レノ國ニ於テモ、先ヅ之ニ依リテ多分ノ利息ヲ得ヤウト云フヨリハ、一番確實ニシテ、元ヲ下シテモ失ハナイ所ニ預ケルト云フ觀念ノアル人ガ、郵便貯金ニ預ケルノデアリマス(「其上ニ利廻ノ好イノ宜イノデアアル」ト呼フ者アリ) 若シ政府自ラ郵便貯金ノ利息ヲ上ゲレバ、其影響トシテ、又普通ノ銀行ノ預金利子ヲ上ゲナケレバナラヌ、又政府自ラ利息ヲ上ゲロミット言ウテ、煽テ置クヤウナモノデアアル、ソレハ私ノ採ル——今ノ政府ノ採ルタ金利政策トハ反對ノ結果デアアル、何所マデモ預金ノ利息ハ、成ルベク標準利息ヨリ一步五厘乃至二歩ヲ低クシテ置クノガ、經濟界金融界ノ爲メニ、安全ノ狀態ヲ現象スル譯デアルト云々、ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソコデ先ヅ「貯蓄心ノ獎勵ヲ如何ニスルカ」ト呼フ者アリ) 預金利息ヲ容易ニ上ゲナイト云フ——濱口君ノ言ハレタ、郵便貯金ノ利子引上ヲ斷行シナイト云フノハ、即チ斯ノ通りノ事情ガアルカラ、ヤレナカッタ、又日本銀行ノ金利ヲ上ゲテ通貨ヲ收縮セヨト云フ御議論デアッタガ、是ハ全クシナイデアリハ、先刻伺ヒマスルト、大正八年五月ガ正ニ金利ヲ引上ゲル時デアアル——ソレハ濱口君ノ御見解デハ或ハサウカモ知レマセヌケレドモ、中央銀行ノ機關ヲ預テ居ル所ノ人ハ、サウ云フ考ハ持テ居ラナカッタノデアリマス、先ヅ第一ニ茲ニ御諒解ヲ得テ置キタイノハ、從前或ハ日本銀行ノ金利引上ニ就テ、大藏大臣ガ恰モ政府ノ自由ニ出來ルカノ如ク思フテ居ッタ御方モアルデセウ、又サウ云フ場合モアツカモ知レマセヌ、併シ私ハ大藏大臣ナルモノハ、中央銀行ノ機關ヲ預テ居ル其人々ノ意見ニ對シテ、之ニ左右スルコトハ間違ッテ居ルト思フノデス(「拍手スル者アリ」) 中央銀行ノ職責ト云フモノハ、先ヅ第一ニ兌換擁護デアリマスケレドモ、常ノ用心ト云フモノハ、全國ノ金融界ニ於ケル金利如何ト云フコトニ就テ晝夜注意ヲシテ、其金利ヲ動かサベキ時ガ來タナラバ、大藏大臣ノ認可ヲ經テ、之ニ向テ大藏大臣ガ同意ヲスレバ認可ヲ與ヘテ許スト云フ譯デアアル、成程通貨ノ流通高ヲ見マシテモ、マダ大正八年ノ五月頃ハ殖エテ居リマセヌ、九月ノ末カラ十月ニナツテ、稍、通貨モ殖エテ來テ居リマス、而シテ日本銀行ハ先ヅ昨年——大正八年、七年ト斯ウニ度利息ヲ上ゲテ居リマス、此利息ヲ上ゲタト云フコトハ、新聞其他デハ、市中ノ銀行ノ貸付利息ノ其程度ニ利轄ヲ合

ハセタノダ、(「其通り」ト呼フ者アリ) ト云フコトニ評シテシマツ、併シハ甚ダ淺見ノ至リデアアル、中央銀行ガ金利ヲ動かスト云フコトハ、是ハ金融界ニ向テ、或ハ緩メ、或ハ引締メルト云フ、其印ヲ揚ゲタニ過ギナイ、今後金融界ハ引締マル用心セヨト云フ爲メノ金利ノ引上デアアル、又金利ヲ引下ルトキハ、餘リ退嬰シテ消極ニナツテ、皆ナ怖ガッテ何モセヌヤウニナツテハイカヌ、金融ハ是カラ樂ニナルカラ、モウ少シ働イタラ宜カラウト云フ意味ノ金利ノ引下デアアル、五月ニ上ゲナカッタカラシテ此財界ノ動搖ガ來タ、其責任ヲ政府ガ持テト仰シヤルノハ、ドウモ當ラヌヤウニ思ハレル、(「拍手スル者アリ」) 日本銀行ハ此内閣ガ成立シタ後、其年十一月ニ於テ金利ヲ引上ゲ、又其翌年ニ於テ、一旦休戦ノ爲メニ財濟ガ悲境ニ陥ツタガ、數月ニシテ復タ回復ヲシ掛ケテ來タ、回復ヲシ掛ケテ通貨ノ出ダシタノハ九月ノ末、十月、十一月ニ掛タノデアアル、是ハ判テ居ルノデス、戰爭ノ濟ンダ後デ一時景氣ガ好クナルガ、其後ニ打撃ガ來ル、殊ニ今度ノ世界ノ大戰爭ハ、日露戰爭、或ハ歐羅巴ノ一部ノ戰爭トハ其影響スル所ガ違フト云フコトハ、皆ナ能ク經濟ニ注意シテ居ル人ノ熟知シテ居ル所デアアル、ソレデ二度ノ金利ヲ引上テ見タガ、世ノ中ハ好景氣ニ馴レテ、成程反動期ハ來ルダラウガ、マダ俺ノヤル間ハ來マイト思ウノハ、是ハ事業ノ思惑ヲシナイデ濟マサウト云フノハ、是ガ投機者ノ通弊デアアル、(「其通り」ト呼フ者アリ) ソレデ之ヲ政府ガ煽ッテヤッタト云フコトハ、何所ニ政府ノ政策ニソレガアルカ偶、豫算ノ事ニ就テ種々ノ攻撃ガアル、ソレニ對シテ答ヘタ、其中ニ於テ一般ノ財界ヲ樂觀セシメ、之ニ由テ投機ヲ促シタノデアアルト云フノハ、少シ曲解ニ過ギハシナイカト思フ、(「拍手スル者アリ」) ソレカラ又公債ヲ募集シテ、外國ニ放資セヨト先刻モ此處デ復タ重ネテ濱口君ハ述ベラレタガ、私ハ初ヨリ日本ノ國ハ好景氣デアツテ、海外カラ金ハ取ッタト云フモノハ、マダ資本國ニハナラヌ、マダ貧乏ナ國デアルト云フコトハ當初カラ申シテ居ル、連モ日本國民ノ力ダ多クノ金ヲ海外ニ放資スル譯ニハ行カヌ、ノデアアル、内地ノ需要ニスラ自ラ給スルコトガ出來ナイ貧乏ナ國デアルトハ屢、私ハ申シテ居ルノデアアル、ソレヲ金ガ多過ギルカラ外國デ公債ヲ募集シテ利息ガ安クテ困ナラ、政府ガ利息位并貸シテヤツテモ宜イカラ海外ニ放資セヨト云フコトハ、恰モ國民ニ向テ、オ前達ハ金ガ澤山アルノダト言フノト同シデ、是コソ樂觀デハナイカト思フ、(「濱口顔色無シ」ト呼フ者アリ) ソレデ一々濱口君ノ經濟政策トシテハ相當ニ御考ニナツテ、理由モアルコトデゴザイマセウケレドモ、倍テ責任アル當局者ガ之ヲ實行スル上カラ考ヘマスルト、一ツモ採ル所ハナイノデ

アル、(「拍手スル者アリ」) 論ヨリ證據、現在ヲドウスル、現在ヲト呼フ者アリ) 而シテ現在反動期ノ來ルト云フコトハ何人モ疑ハナカッタガ、唯ダ其時ト程度ト云フモノハ、何人モ判ラナカッタノデアリマス、而シテ是ガデス、憲政會ノ諸君ノ言ハレタ政策ヲ實行シテ居テ、此反動期ガ來タリウデアツタウト云フコトヲ、豫想シテ見ナケレバナラヌ、金利ヲ引上ゲテ通貨ヲ收縮シ、信用ヲ縮小スル譯デアアル、先ヅ第一ノ位ノ程度ニ金利ヲ引上ゲテ行ツテ宜イカ、詰マリ銀行ガ貸瀝リヤスト云フコトガ無クテ、金利ノ高イノデ借入ノ方ヲ抑ヘヤウト云フコトニナラ、借入ノ方ガ金ガ餘リ利息ガ高イカラ借リナイト云フコトニナツテ、初メテ物價ノ調節ガ出來ル、通貨ノ縮小モ出來ルト云フ御考ダラウト私ハ察スルノデアアル、如何ニモ一面考ヘレバサウデアリマセウ、併ナガラ其借入ガ投機思惑デ借リル利息ヨリ、尙ホ大キイ利益ガ目前ニ見エテ居ルナラバ、如何ニ金利ガ高クテモ、之ヲ借リテ其投機思惑ヲ爲スノデアアル、(「ソナラ去年上ゲタノハ何ダ」ト呼フ者アリ) ソナラ何事モ出來ナイ程ニ金利ヲ高ク引上ゲテ、之ヲ收縮シテ行ツタナラバ、所謂泡沫會社モ、堅實ナル會社モ、即チ玉石共ニ滅ビナケレバナラヌコトニナラウト思フ、(「ソナ事ハ言ハナイ」) 默レト呼フ者アリ) ソレデ金利ノ引上政策ニ依テ起業心ヲ阻喪サセ、借リル人ヲシテ借リルコトノ出來ナイヤウニスルト云フコトニナラバ、玉石共ニ滅ビテシマウ結果ニナルノデアアル、左様ナ事ハ出來ルモノデハナイ、何レノ國デモ金利ヲ引上ゲテ、サウシテ此投機思惑ヲ抑ヘヤウト云フ、金利政策デ行クモノジヤナイ、是ハ借リル方ノ人ガ危イカラ止メヤウト云フ考ヲ起スカ、或ハ貸ス所ノ銀行ガ識別シテ、引締メルカシナケレバ出來ナイ事デアアル、(「解タカ」ト呼フ者アリ) 此銀行ヲシテ貸瀝ラセルト云フコトハ、皆ナ自由ニ營業シテ居ル日本ノ銀行ハ一千數百アツテ、其支店ヲ入レタラ何千トナル、此支配人共ニ、一々政府ノ命令デ以テ玉石ヲ分ケテカラニ、詰ラナイモノニハ金ヲ貸スナト云フコトニナツタラ、何ト此世ノ中ハ騒グデセウ、左様ニ自由ヲ拘束スルコトハ今日出來ナイノデアアル、(「何ヲ言フデ居ル」) 默レト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 金澤君靜ニ……

「眞中ノ方ヘモ注意シ給ヘ」怪シカラヌト呼フ者アリ

○國務大臣(男爵高橋是清君)(續) 故ニ若シ金利ヲ引上ゲテ以テ不景氣ヲ來シ、諸君ノ言ハレタル如ク、外國貿易ガ多少減ジテモ、ヤラナケレバナラヌト云フ位キニ言ハレタガ、ソコマデ此金利ヲ高クシテ行ツタナラバ、ドンナ狀態ガ現レルカ今日以上難儀ヲスルト云フコトハ、總理大臣モ言ハレタヤウニアルガ、是ハ具眼者ハサウ考ヘヌノデアアル、(「拍手

起ル)何故ト申スニ、我國ハ先ヅ第一ニ外國貿易ホド、經濟上カラ言ヘバ、將來大切ナモノハ無イノデアル(勿論)ト呼フ者アリ)天惠ノ薄イ我國デアリマス、比較的デス、一タビ我が國民ガ、露西亞人其他ノ天惠ニ富シテ居ル國ノ人民ノ如ク貧乏ニナラドウデアリマセウ、再ビ起ツコトガ出來マセウカ、私ハ能ク譬ヘテ言ヒマスガ、露西亞ヤ、墨西哥ヤ、支那、南米諸國ハ、假令其國民ガ貧乏シマシテモ、砂金ノ袋ノ上ニ腰掛ケテ貧乏シテ居ル、故ニ其國ノ政治ガ安定シマスレバ、他國カラ資本ガ入ッテ來テ此國ヲ富マシ、同時ニ其國民モ富ムヤウナ天惠ガアルノデアル、併シ不幸ニシテ我國ノ如キ天惠ニ比較的薄イ國ハ、何ヲ措イテモ貧乏ニハナレナイ、貧乏ニナタラ願ミル人ハ無イ(何ヲ言フデ居ル)ト呼フ者アリ)此貧乏ニナラヌヤウニスルニハ、外國貿易ヲ盛ニスルヨリ外途ハ無イノデアリマス(ヒヤ)ト呼フ者アリ)其外國貿易ヲ人爲的ニ抑ヘテ縮メルト云フコトハ、吾々ノ考ニハ、ドウシテモ浮バナイ事デアル(拍手起ル)今日ハ誰モ外國貿易ノ事ニ就テハ、私ハ甚ダ心外ニ思フデ居ル、國民全體ニ於テ其用意ノ無イト云フコトヲ、甚ダ心外ニ思フデ居ルノデアリマス、先刻ノ濱口君ノ質問中ニ、私ノ演説ノ中ニ用意ガ足リナカッタト云フノハ、私ハ政府ノ用意ガ足ラナカッタト云フ意味デハ決シテナイ、御解釋ノ通り、國民ノ此業ニ當テ居ル人ノ用意ガ足ラナカッタト、サウ云フノデス(政府ハ何ニモ用意シナイ)ト呼フ者アリ)先ヅ大體濱口君ノ豫テ主張セラル、所ノ政策ヲ實行シナカッタト云フコトニ就テノ理由ハ、之ニテ御了解相成ルコト、考ヘマス(明瞭々々)ト呼フ者アリ)ソコデ今日ノ場合ヲ指シテ、稍、小康ヲ得タヤウデアルガ、今後マダ幾多ノ銀行諸會社ガ破綻ヲ生ジテ、ドノ様ナコトニナルカモ知レヌ、其處置ハドウ云フ事ヲスルノコト云フ意味ダラウト私ハ思フ、唯ダ濱口君ハ愈々、今後ハ益々惡クナルゾ、此惡クナル責任ハ今ノ政府ニアルゾト云フダケニ言ヒ放シヤナカラウト思ヒマスガ、小康ヲ得タ、今後益々惡クナルデアラウ、奈落ノ底ニ陥ルデアラウ、其責任ハ政府ダント云フ、サウ云フ言ヒ放シヤアルカ、今後ニ於テ政府ノ採ルベキ政策ハ如何デアアルカト云フ御尋デアアルカ、ドナラデアアルカ、私ハ其後ノ方ダト思フデ此處デ御答ヘスル(先ガ見エルク)有象無象默レト呼フ者アリ)吾々ノ考ヘテ居ル所デハ、憲政會ノ諸君ノ言ハレタ政策ヲ用キナカッタコソ、今日ノ程度デは居ルノデアアル(拍手起リ)ヒヤ)ト呼フ者アリ)ト呼フ者アリ)用キナカッタ故ニ、今日ハ十分進シテ救済ノ方針ガ立テラレト考ヘテ居ル、若シ是ガ政府ノ壓制ニ依テ金融ヲ梗塞シ、信用ヲ縮小シテ不景氣ヲ生ジタモノナラバ、何ノ理由ガアッテ、何ノ面目ガアッテ、政府ガ再び見返スト云フコトガ出來マセウカ、今後社會ニ於テ種々ノ要求ガ起リマセウ、

種々ノ要求ガ起テ、政府ノ爲スベキ事ハ、必ズ時々研究ヲシテ方針ヲ立テ、其方針ニ依テ金融機關等ヲ働カシテ行ク考デアルノデス、今日マデ既ニシタ所デモ中々多イノデス、若シ是ガ政府ガアナタ方ノ言フヤウニ、無策デアル、放任デアル、何も無イト言フタナラバ、ソレコン先刻濱口君ガ形容セラレタヤウナ、エライ經濟界ノ狀態ニナッテ居ルニ違ヒナイ(ノウウ)ト呼フ者アリ)拍手スル者アリ)今日二千三四百ノ銀行ガアル、ソレガ澤山ノ支店ヲ持テ居ル所ニ於テ、休業破綻ヲ生ジ、ソレガ爲メニ困ッテドウト云フヤウナ事ハ、此銀行ノ數カラ云ヒ、又此打擊ノ程度カラ云フタラ、マダ寔ニ輕イト謂ハザルヲ得ナイ(拍手スル者アリ)又綿絲綿布總テノ商品ニ對シテモ、事業ニ就テモ、マダ思フ程ニ是ガ悲境ニ陥ラヌ、思フ程ノ打擊ヲ受ケズニ済ムカモ知レヌト云フ、茲ニ曙光モ見エテ居ルノデアアル(見エナイ)ト呼フ者アリ)斯ノ如キ事ニナタラハ、獨リ政府ノ努力バカリデハナイ、政府ト共ニ財界ノ各種ノ機關ガ方針ヲ一ニシテ、此財界ノ變動期ニ處シテ行クト云フコトニ一致シテ行クタラ、是デ定マッテ居ルノデアアル(拍手起リ)ノウウ)ト呼フ者アリ)若シ是ガ政府ノ壓制デ行タラ、決シテ此效果ハ舉ラナイデアラウ(勿論サウダ)貴方ニハ何も出來マセヌト呼フ者アリ)斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、要スルニ議論ニ涉ル事ガ多イデアリマス、又此議論ト云フモノハ、理想的ニ考ヘタ所デハハイカナイ、實際ニ就テ行カネレバハイカナイ、實際ニ就テ行クト云フト、一ツツ、物ヲ拾ッテ行テ、始メテ解決ガ出來ルノデアアル、故ニ政府トシテハ大體ノ方針ヲ定メテ、其方針ニ順應シテ、起ッテ來ル事件々々ニ就テ之ヲ處理サシテ行クノハ皆ナ民間ノ機關デアアル、アナタ方ノ言フ所ニ依ルト、總テノモノガ政府デヤル通りニナルモノデアアル總テノモノガ人民ハ何モ實業者自ラ不養生シテモ、ソレハ政府ガ惡イノダト云フヤウニ御解釋ニナルノハ、自他共ニ利益ガ無イ、國民ノ爲メニ宜シクナイ(拍手スル者)ヒヤ)ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 濱口雄幸君

○議長(與繁三郎君) 濱口雄幸君

○濱口雄幸君 段々各大臣ノ御答辯ヲ得マシタガ、遺憾ナガラ本員トハ未ダ了解スルコトガ出來マセヌ、否ナ承服スルコトガ出來マセヌ、第一陸軍大臣ハ本員ノ質問ニ對シマシテ、豫算委員總會ニ於ケル答辯ヲ再ビ繰返サレタノデアリマス、併ナガテ此事柄ニ就キマシテハ、本員ガ先刻詳細ニ申述ベマシタ通り、貴族院ニ於ケル質問應答ノ趣意トハ、全然矛盾ヲ致シテ居ルト云フコトヲ茲ニ斷言ヲ致シテ置キマス(拍手スル者アリ)本員ハ憲法上國務大臣ノ責任問題ノ爲メニ、又小ニシテハ、陸軍大臣一個ノ爲メニ深ク之ヲ惜ミマス、唯ダ惜ムノミデハ足リマセヌ、サウ云フ問題デハアリマセ

ヌ、此問題ハ貴衆兩院ハ固ヨリ、六千万國民齊シク満足セザル問題デアルト云フコトヲ更メテ申上ゲテ置キマス(拍手起ル)次ニ海軍大臣ノ御答辯ハ、本員ノ質問ノ趣意ヲ誤解サレテ居ルヤウデアリマス、(討論ハイケナイ)討論ハイケナイト呼ヒ、其他發言スル者多シ)

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ 濱口君質疑ヲシテ居ルノデス

○濱口雄幸君(續) 質疑デス 海軍大臣ノ答辯ハ、本員ノ質疑ノ趣意ヲ誤解サレテ居ルヤウデアリマスカラ、其誤解ヲ正シテ、更ニ再質問ヲ致シマス、海軍大臣ニ質問ヲ致シマシタノハ、議會解散ノ結果ハ八艦隊ノ若手ガ四箇月後レルト、其金額ハ本年度ニ於テ、海軍大臣ハ數百萬圓ト言ハレマスガ、本員ノ記憶ニ依レバ、サウ云フ小サイ金額デハナカッタヤウニ思ヒマス、少クトモ二千萬圓以上ノ金額ガ減ル勘定デアルト思ヒマス、二千萬圓以上ノ金額ト見マズレバ、サウ輟スク後繰返スト云フコトハ、果シテ如何ナルモノデアリマセウカ、ノミナラズ本員ノ質問ノ要點ハ、其數百萬圓若クハ數千萬圓トカ云フ金ガ、足りナカナルデハナイカト云フ意味デアリマセヌ、本員ハ此場合金額ノ事ヲ以テ質問ヲ致シタノデアリナイ、唯ダ海軍大臣ガ完成一日ヲ緩ウスベカラズト云フ提案ヲセラレタ此ハ八艦隊ノ完成期限ガ後レハシナイカト云フコトヲ質問致シタノデアリマス(拍手スル者アリ)而シテ海軍大臣ハ其著手ノ期限ガ後レナイト言ハレマスガ、然ラバ初メノ十六年度ニ完成スルト云フ計畫ニ、懸値ガアッテハナイカト云フ本員ノ質問ガ、確メラレナケレバナラナイノデアリマス(拍手スル者アリ)此點ニ就キマシテ、更ニ海軍大臣ノ明答ヲ煩シマス、次ニ大藏大臣ニ再質問ヲ致シマス、本員ガ日本銀行金利引上ノ必要ヲ質問致シマシタ所ガ、大藏大臣ハ金利引上シハ絕對ニ反對ノ意味ヲ以テ答辯セラレタノデアリマス、若シ大藏大臣ガ段御說明ニナタラハ、金利引上ト云フコトガ、我が產業界、事業界ニ不利益デアルカライケナイト云フナラバ、然ラバ現内閣ハ何故ニ一昨年十一月ニ此金利引上ヲヤラレタノデアアルカ、又昨年十月、十一月ニ此金利引上ヲヤラレタノデアアルカ、其ノヤラレタ所ヲ以テ之ヲ見レバ、金利引上ト云フ事ニハ絕對ニハ反對デナクテ、適當ナル時機ガアルナラバ、之ヲヤッテ宜シイト云フ御趣意ト了解ヲ致ス、然ラバ其適當ナル時機ハ、昨年五月ガ其適當ナル時機デハナカッタカト申シマシタ所ガ、五月ニハ日本銀行ノ總裁カラ、何等ノ申出ガ無カッタト云フヤウナ答辯デアアル、若シ大藏大臣ガ金融界ノ趨勢ヲ達觀シテ居ラレ、洞察サレテ、五六月ノ交ニ金利引上ノ必要アリト見ラレタトキニハ、其當然ノ職責トシテ、日本銀行ノ總裁ノ申出ヲ待タズ、自ら進ンデ協議シテ、之ヲ斷

行スベキデハアリマセヌカ、然ルニソレモ大藏大臣ガ必要ガ無イトサレルナラバ、何故ニ必要ガ無イモノヲ執ラレトナラバ、唯今ノ御答辯ヲ承リテスレバ、兌換券ノ膨脹、總テノ關係ニ於テ、昨年ノ經濟界ハ十月、十一月ノ交ニ於テ其絶頂ニ達シタルガ故ニ、十月、十一月ノ金利引上ノ適當ナル時機デアット云フ御趣意ト了解シマシタガ、更ニ伺ヒマスルノハ、私共ノ考デハ、日本銀行ノ金利ノ引上ハ、金融界ノ前途ニ向テ、警戒ヲ想ヘルト云フ趣意デアリニ依テ、其時機ハ投機思想ガ高潮ニ達シ、兌換券ガ膨脹シ切ツテ、物價ガ暴騰ノ極ニ達シタ時ニヤツテモ、既ニ間ニ合ハナイ、「ヒヤ」ト呼フ者アリ、其氣運ガ現レタ時其端緒ハ見エタ時ニ於テ、前途ヲ警戒スル爲メニ金利ノ引上ヲ斷行スルト云フコトガ、是ガ即チ金融ノ樞機ヲ握テ居ル日本銀行當然ノ責任デハナイカ、若シ當然ノ責任ヲ有ツテ居ル日本銀行總裁ガ、實際之ヲ知ツテ居リナガラヤルコトガ出來ナイト云フナラバ、大藏大臣須ラク之ヲ命令シテヤラスベシ、其命令ヲ肯カナイナラバ已ムヲ得ナイ、日本ノ爲メ日本銀行總裁ノ處分ヲスルノ外ハナイノデアアルニモ拘ラバ大藏大臣ハ尙ホ投機思想ノ絶頂ニ達シタ時、昨年ノ九月ノ十月月デアツタカ、此時ニ於テ初メテ金利ノ引上ヲヤツタノガ、最も適當ノ時機ト唯今モ御考ニナテ居ルヤ否ヤ、次ニ大藏大臣ハ自ラ投機思想ヲ煽揚シタコトハ無イト云フ答辯デアリマシタガ、是ハ先刻多數ノ例ヲ舉ゲテ本員ハ申シテ置キマシタノガ、再ビ申ス必要アリマセヌカ、大藏大臣ノ投機煽揚ノ實例ハ、餘リ數ガ多過ぎタ爲メニ、或ハ大藏大臣ハ御記憶ニナテ居ラヌカモ知レマセヌカ、再ビ茲ニ之ヲ繰返シマス、即チ昨年ノ六月ノ六日ニ各新聞紙ニ發表セラレタ大藏大臣ノ所謂主張、其中ニハ明カニ日本銀行金利引上ニ反對シタ意見ガ出テ居ル、而モ堂々ト書イテアル、既ニ日本銀行利上ノ時機ハ逸シテシマツタ、其八月ニ金利引上ノ反對論ヲ聽イテ、其議論ヲ見テ、世間ニハ是ハ金利引上ト云フコトハナイ、然ラバ財界ノ將來ハ警戒スルノ必要ガナイト云フノデ、投機思想ガ多ク行ハレタト云フコトハ、是ハ當然ノ結果デアアル、是デモ大藏大臣ハ、投機煽揚ノ覺ナシト言ハル、ヤ否ヤ、又昨年ノ四月二十三日ノ關西大會ノ演說、是ハ御記憶ニナテ居リマセウガ、本員ハ其筆記ヲ持テ居ル、必要ナラバ讀上ゲマス、其筆記ヲ一讀致シマスレバ、財界ノ前途ハ洋々タルモノデアルト云フ態度ヲ、大藏大臣ガ執ツテ居、タト云フコトハ明カナル事デアル、ソレカラ今一ツニハ斯ウ云フ實例ガアリマス、大藏大臣ハ何レノ場合ニ於テモ、生産獎勵ト云フコトヲ絶叫セラレル、好景氣ノ時ニ於テモ、財界ノ混亂ノ如クニ達シタル今日ニ於テモ、尙ホ依然トシテ、生産獎勵生産獎勵ト云フコトヲ高調セラレル、今日ニ

於テ生産獎勵ト云フ政策ヲ執ラレト云フコトガ、財界ノ混亂ヲ整理スル邪魔ニナルト云フコトハ、天下ノ人ガ悉ク言テ居ルコトデアリマス、財界ノ好景氣ノ絶頂ノ時ニ於テ、唯タサヘ投機思想ガ旺盛ニナテ居ル時ニ、依然トシテ生産ノ獎勵ヲ絶叫セラレテ居、タト云フコトハ、投機思想ノ煽揚ニナルデハナイカ、之ヲ如何ニ御考ニナルカ、ソレカラ今一ツニハ海外放資ニ反對セラレ、其理由トシテ御述ニナツタ所ニ依リマスレバ、日本ハマダ資金ガ足ラナイ、ソレ故ニ唯タサヘ足リナイ資金ヲ海外ニ出シテ國產ノ發展ニ差支ヘルカラ、海外ノ放資ニハ反對デアルト云フ御趣意デアリマシタガ、本員ノ質問致シマシタ要點ハ、成程日本ノ資金ハ、絕對ノ額ハ外國ニ對シテハ少ナイデアリマセウ、大藏大臣ガ能ク御承知ノ、亞米利加ナリ英國ナリニ比較致シマスレバ、其資本ノ金額、富ノ高ハ遙ニ少ナイ、是ハ宛ニ遺憾ノ事デアリマスガ、是ハ何モ今日ニ始メタコトデアリマセヌ、併ナガラ日本ハ前カラ相當ノ資本ト云フモノヲ持テ居、タ、其前カラ膨脹ヲシタ、其膨脹シタ金ヲ十分ニ受入レテ消化スルダケノ準備ガ、日本ノ經濟界ニ出來テ居、ナイ、其準備ノ出來テ居、ナカツタ所ニ、俄ニ金ガ澤山ニ入、テ來タカラ、是ガ溢レタコトハ當然デアアル、其溢レタ結果、即チ通貨ノ膨脹トナリ、物價ノ暴騰トナツタ、是ガ即チ今日ノ經濟界ヲ累シテ居ル、ソレデモ尙ホ大藏大臣ハ、其當時ニ於テ海外放資ニ反對シタノガ當然デアルト、今日デモ御考ニナテ居ルヤ否ヤ、ソレカラ日本銀行ノ金利引上ニ反對セラ、理由トシテ、金利引上ハ資本ヲ高カラシムル、即チ資本ノ作用ヲ減ラス傾有、テ居、ル、サウスル基礎ノ堅實ナル事業、將來見込アル事業モ、然ラザル事業モ、共ニ發達ヲ妨害セラレルニ依テイケナイ、金利ヲ引上ナイデアツタカラ、今日ノ如キ混亂ガ豫想セラ、ル、ニ依テ、玉石ヲ甄別シテ、玉ハ之ヲ助ケ、石ハ之ヲ捨テ、ルト云フ方針ガ定マルカラ、宛ニ結構デアルト云フ御議論デアリマシタガ、樂觀モ此ニ至テ極マレリ、吾メガ金利ノ引上ヲ唱ヘマシタノハ、餘リニ金利ガ安イト云フト、不急ノ事業ガ起ル、即チ事業ノ濫興、會社株式ノ旺盛ヲ來ス是ガ抑、投機思想ノ原因ニナル、ソレ故ニ一時ニ極端ニヤルコトハ固ヨリ不可デアリマススケレドモ、漸次日本銀行ガ金利ヲ上ゲテ、前途ニ警戒ヲ加ヘル、サウスレバ、ソレダケ資金ガ高タナルコトハ當然デアリマスガ、少シ高キ資金ヲ使ツテモ、尙ホ前途ニ利益アル事業ハ頗著ナシニ榮エテ行ク、然ラザル事業ハ、必ズ其金利ノ高キニ辟易シテ止ミ、確實ナルモノノシニナル、是ニ於テ事業ノ濫興ガ少ナルト云フコトガ、吾等ノ意見デアリマシタガ、大藏大臣ハ、ソレデモ大藏金利ヲ引上ゲナカツタト云フコトニ就テ、アレガ宜シナカツタト云フ

自信ヲ、御起シナリハセヌカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ金利ヲ引上ゲレバ、外國貿易ガ減ル、外國貿易ハ寔ニ大事ナコトデアアル、日本ノ國柄トシテ、最も必要ナルコトデアルト云フ御話デアリマシタ、是ハ本員モ全然其感ヲ同ジウスル、外國貿易ノ盛ナルコトヲ希望スルガ故ニ、吾等ハ外國貿易ノ結果正貨ガ殖エル、其殖エル正貨ヲ外國ニ投資スル手段ヲ執レバ、海外貿易ハ益、盛ニナル、而モ其結果内地ノ通貨膨脹ハ之ヲ防グコトガ出來ルト云フ理由カラ、海外放資ヲ唱ヘタダケデハナイカ、ソレカラ濱口ハ將來ノ事ニ就テノ質問デアツタカ、今日マデノコトニ就テノ質問デアツタカ分ラヌケレドモ將來ノ事ニ就テ語ヲスルト云フコトデアリマシタガ、本員ハ將來ノ事ニ就テ質問ヲ致サナカツタデアリマス、今日マデノ内閣ノ放漫ナル政策ニ依リ、又投機煽揚ノ政策ニ依テ、今日ノ如キ大混亂ヲ生セシメタ、其内閣ニ向テ、將來ノ善後策ヲ問フト云フコトハ全然無益ノ業デアアル、「ヒヤ」ト「拍手」ソレ故ニ本員ハ此内閣ノ諸公ニ向テ、將來ノ善後策ヲ問フダケノ勇氣ハ持ツテ居、ナイ、唯ダ重ネテ何デ置キタイノハ、大藏大臣ハ此内閣ガ彼ノ如キ政策ヲ執ツタレバコソ、今日ノ混亂ガ此程度ニ止メテ居ルガ、若シ憲政會ノ言フ通りニヤツタナラバ、今日以上ノ反動ガ來テ居ル所デアツタト云フコトヲ言ハレタ、是ハ總理大臣ト同シ事ヲ言ハレタデアアルガ、私ハ前ニ申シタコトヲ再ビ御尋フサルノデアアル、サウ云フ事ガドウシテアツタニ分テ居リマスカ、ア、云フ自由放任ノ政策ヲ執リ、放漫政策ヲ執ツテ居、タ結果ガ、今日ノ如キ大反動ガ起ルト云フコトヲ御承知ノナカツタ大藏大臣ガ、マダ反動ガ實際ノ實物教訓デシナケレバ、自分ノ政策ノ善惡ガ分ラヌデハナイカ、ソレガドウシテ憲政會ノ言フ通りニシテ居、タナラバ、今日以上ノ反動ガ來ルト云フコトヲ斷言ナサル、其根據ハ何レニ在リヤ

○議長(奥繁三郎君) 加藤海軍大臣

○國務大臣(加藤友三郎君) 濱口君ノ重ネテノ御質問デアリマスガ、四箇月間ノ金ハ七八百萬圓デアリマス、濱口君ノ言ハル、如ク大金デハナイノデアリマス、又十六年度マデハ全カヲ盡スノデアルカラ、四箇月間延ビタナラバ、餘裕ガアツタト云フコトニナルノデアリマシタ、斯ウ云フ意味ト解釋ヲ致シマシタ、前議會ニ於キマシテモ詳シク説明ヲ致シマシタ通りニ、十六年度マデノ全能力ハ、大艦ニ就テ申上ゲタノデアリマス、小艦艇ハ尙ホ製造ノ餘力アリト申上ゲテ居リマス、而シテ今回豫算ノ御協賛ヲ經マシテモ、大艦ノ製造著手ニハ本年度ヨリハ掛リマセヌ、本年度ニ於キマシテハ、幾ニ御協賛ヲ經マシタ十年度マデノ計畫ヲ實行シツ、アルノデアリマス、故ニ四箇月間延期致シマシテモ、曩ニ申上ゲタ

事ハ、何等矛盾ハ無イコト、御承知ヲ願ヒマス
○議長(奥繁三郎君) 高橋大藏大臣

○國務大臣男爵高橋是清君登壇(拍手起ル)

○國務大臣男爵高橋是清君(重ネテノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一ニハ金利ノ引上ニ付テノ適當ナル時機ト云フコトニ就テ、濱口君ハ五月ヲ主張セラレ、ソレハ濱口君ノ御考デハサウデアツカモ知レマセヌケレドモ、日本銀行ト云フ機關ヲ預テ居ル所ノ者ノ考デハサウデナカッタノデアル、濱口君ハ、大藏大臣ガ金利ハ日本銀行ガ言ウテ來ナケレバ、差圖シタラ宜シカラウ、命令シタラ宜カラウ、ソレ程ニ日本銀行ノ機關ヲ預ル責任者ヲ輕ク視ル譯ニハ行カヌ、若シ大藏大臣ガ金利ヲ引上ゲト——假リニ私が日本銀行ヲ預テ居リ、大藏大臣ガ私ノ意思ニ反シテ、經濟界ノ狀況金利ヲ引上ゲルガ宜イカラシテ引上ゲト、私ノ意思ニ反シテ命令的ニ來レバ、私ハ辭職スルヨリ仕方ナシ、又其位ノ覺悟ヲ持テ居ナケレバ、此機關ヲ預テ居ル譯ニハ行カヌ、今日ノ日本銀行ノ機關ヲ預テ居ル人ハ、左様ニ責任觀念ノ薄イ人デハナイノデアル、此人ニ任セテ置ケバ澤山デアル(今日ノ救済ハ何人ヲシテ爲サシメテ居ルカ)救済資金ハ何處カラ出テ居マス)ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○國務大臣男爵高橋是清君(續) ソレカラ八月ニ私見ヲ私ガ發表シタ、此私見ニ於テ金利引上ニ反對シタカラ是ガ即チ世ノ中ノ投機思慮ヲ獎勵シタモノ、ゾト言ハレル(其通り)ト呼フ者アリ)此私見ナルモノヲ能ク玩讀シテ載キタイ、是ハ慥カ七月中旬頃彼レハ私が作タモノデアル、其當時マデハ物價ヲ下落セシムル爲メニ——即チ物價ノ騰貴ト云フ苦情ガ彼時ニハ多カッタ、物價調節ノ爲メニ金利ヲ引上ゲテ、通貨ヲ收縮セヨト云フコトノ一本調子デ來タ、誠ニ當時ノ新聞ヲ御覽ナサイ、七月中旬マデト云フモノハ、金利引上論バカリデアル、是ハ世ノ中ガ誤テ居ルト思フカラ、意見ヲ發表シタノデアル——私見ヲ發表シタノデアル、此金利引上ゲル害ト云フモノハ先刻申シタ如キ害ガアル、此金利引上ニ依テ此物價ヲ下落セシメヤウト云フ政策ハ、私ハ宜シクナイト信ジテ居ル、他ノ手段ヲ以テ物價ノ下ルト云フコトハ、無論望ムノデアリマスケレドモ、金利政策ニ依テ物價ヲ下落セシメルト云フ政策ニハ、私ハ反對ヲシタノデアル、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)之ニ反對ヲシタ辯ニ何故十月、十一月ニ金利ヲ上ゲト云フガ、ソレハ無理ナ——時ニ——場合ニ依テ金利ヲ上ゲベキ時ガ來テ、日本銀行ガ然ルベシト認メタ時ニ、私が同意ガ出來レバソレニ認可ヲ與ヘルノデアアル、必ズ金利ヲ絕對ニ引上ゲルコトハナラヌト云フ氣遣ハナイ(無定見)「ヤカマシイ」ト呼フ者アリ)ソレカラ私が生産ヲ

獎勵スルト同時ニ儉約ヲ獎勵シタ、是ハ屢、公開ノ席ニ於テモ演說ヲシタニ違ヒナイ、生産ヲ獎勵シタカラシテ、是ガ投機思慮ヲ益、増長サセタノダ——是モ受取レナイ話デアル、生産ヲ獎勵スルト云フコトハ、見込ノアル生産デアル、ソレハ生産ヲスル人ノ責任デハアリマセヌカ、其物價賣レナイノニ幾ラ生産ガ宜イト云フデモ、見込ノナイ物ヲ造ル者ハ無イデセウ、何レノ時代ニ於テモ、生産ノ増加ト國民ノ儉約ト云フモノハ必要ノデアアル、殊ニ今日ノ時世ニ於テハ、人ハ多ク働イテ餘計物ヲ造テ、費ス所ノ物ハ少クシテ満足スルト云フコトガ必要ナ時代ナノデアアル、(何時ダッテ同ジダ)「今日バカリデハナイ」默レト呼フ者アリ)唯タ不幸ニシテ、我國ノ衣食住ガ世界的ニナツテ居ラヌモノダカラ、内地ニ餘品併ナガラ何レノ時代ニ於テモ人ハ情ケテイケナイ、働イテ餘計物ヲ造ルヤウニシナケレバナラヌ、(明瞭々々)ト呼フ者アリ)是ハ當前ノ分り切タ事デアルガ、其分り切タ事ヲ言ウタノヲ以テ、思慮投機ヲ助長シタト云フノハ何ノ事デアル、(ソレハ)小學校ノ生徒ニ教ヘル事ダ)ト呼フ者アリ)ソレカラ海外放資ニ反對ヲシタ、海外放資ニ反對ヲシタト云フガ、放資其モノニ反對シタノデハナイ、其海外放資ヲセヨト云テ國民ニ勸メルノハ無理デアル、國民ニハ左様ナ餘裕ハアリマセヌト云フコトヲ話ヲシタノデアアル、公債ヲ募集シテ海外ニ放資スルト云フガ、放資スル人間ガ此ニ現レテ來ナケレバナラヌ、若シ國民ニソレヲ望ム、人民ニソレヲ望ム、實業家ニソレヲ望ムナラバ、ソレハ無理ナ注文デアル、故ニ御覽ナサイ、海外ニ在ル所ノ正貨ト云フモノハ、何人ガ之ヲ有テ居ルカ、國庫剩餘金、預金部ノ金デアリマセウ、國民自ラ放資ヲスルト云フデ持テ居ル有價證券ト云フモノハ、ソレハ百ヤ二百ハアリマセウガ、之ヲ以テ日本人ガ海外ニ放資シタト云フ譯ニハ行カナイ位ナ數字ノモノデアル、土臺國民ニ向テ金ヲ使バズニ海外ニ投資セヨト云フコトガ、抑、國民ノ今日ノ富ノ程度ヲ知ラヌカラサウ云フ事ガ起テ來ル、デ私ハ重ネテ言フ、濱口君ノ列舉セラレタ所ノ金利引上以下ノ政策ヲ採テ實行シタナラバ、今日以上ニ財界ハ困難ヲスルト云フコトハ明デアル、(拍手起ル)何故ト云フニ金利引上ゲテ事務業ヲ縮メルト云フナラバ、先刻言ハレタ玉モ瓦モ凡テ一緒ニナル、良イモノバカリ起サウト云フ譯ニハ行カヌ、殊ニ堅實ナル仕事ハ、金利ガ高クテハ起ルモノデハナイ、資本ノ高イト云フコトハ、事業ノ發展ヲ妨グルト云フコトハ明ナ事デアル(拍手起ル)デ資本ノ高イト云フコトハ、又物價ノ高クスル一ノ原因デモアルノデアアル、唯タ金利ヲ上ゲテカラニ、此錯雜シタル所ノ經濟界ヲ調節シヤウト云フノハ、餘リ考ガ單純過ギルト斯ウ思フ

○議長(奥繁三郎君) 植原悦二郎君

(植原悦二郎君登壇、拍手起ル)

○植原悦二郎君 政府ノ施政方針ニ對スル質疑ハ、主トシテ總理大臣ト、外務大臣並ニ陸軍大臣ノ御答辯ヲ要スル事デアリマス、併ナガラ貴族院ノ御都合ニ依リマシテ、總理大臣ハ御出席ガ叶ハナイト云フコトデゴザイマスカラシテ、此處ニ御出席ノ國務大臣ガ、總理大臣ニ代テ御答辯アルカ、若クハ私ノ質問ノ趣意ヲ總理大臣ニ御傳ヘ下スデ、何レカノ時期ニ於テ明確ナル所ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、私ノ第一ノ質問ハ、西伯利問題ニ就テモゴザイマス、之ニ就テハ、總理大臣モ明確ナル所ノ御答辯ヲ爲スデ居ルト昨日モ御言ヒニナリマシタガ、第四十二議會ニ於ケル所ノ政府當局者ノ御答辯ヲ見マシテ、又本議會ニ於ケル所ノ外務大臣、陸軍大臣、總理大臣ノ西伯利問題ニ對スル所ノ説明ヲ、一々比較致シテ見マスルト、云フト此間ニ甚シキ矛盾著アルコトヲ發見スルノデアリマス、(拍手)此點ニ於キマシテ何レガ政府ノ方針デアルカ、私共甚ダ感フ者デアリマス、私が獨リ感フノミナラ宜シウゴザイマス、之ガ爲ニ六千萬國民ガ感フノデアリマス、(拍手)是迄幾度モ日本帝國ハ、海外ニ向テ兵ヲ駐屯セシメタコトガアル、日本ノ國民ニシテ、嘗テハ日清戰爭ガナゼ爲サレタカ、日露戰爭ガナゼ爲サレタカ、北清事件ガナゼ爲サレタカト云フコトヲ、知ラナンデ居タ者ハ一人モ居ナイト云フデ差支ナイト思ヒマス、又最近ニ於ケル所ノ日獨戰爭モ、メソノ如ク、初メ西伯利ノ出兵ガ「チエツク、スロウアツク」援助ノ爲メデアルト云フコトデケハ、國民全體明瞭ニ知リマシタ、併ナガラ其後何故ニ政府ガ西伯利ニ兵ヲ駐屯セシメタト云フコトニ就キマシテハ、恐ラク西伯利ニ兵ヲ出シテ居リマス其父兄デサヘモ、明瞭ニ知ラナイト思フデ居ル、(ノウ)ト呼フ者アリ)ナゼ是ガ明瞭デナイカ、事實ヲ申上ゲマス、其上政友會ノ方ガ御異議ガアルナラバ、此場デ御答ヲ願ヒタイ、議席カラ彼是御言ヒニナルコトハ無用デアリマス(拍手)(政友會ニ質問スルノカ)ト呼フ者アリ)政友會ニ質問スルノデアリマス、政友會ノ方ガ私が西伯利ノ問題ニ就テ、國民ガ疑問ヲ持テ居ルト云フ時ニ「ノウ」ト仰シヤタカラ、ソレニ就テ御異議ガアルナラ御答ナサイト云フノデス、(誰ニ質問スルノダ)ト呼フ者アリ)政府ニ質問スルノデス、本年一月二十五日ノ官報ニ於テ、第四十二議會ノ松永君ノ質問ニ對シテ、原總理大臣ハ斯ノ如キ答辯ヲ致シテ居リマス、(亞米利加ガ撤兵致シ英吉利ガ撤兵致ス故ニ日本モ撤兵致スベキデナイカト云フコトデアリマスガ此事ニ付テハ日本ハサウ單純ニ參ラヌト云フコトヲ御諒解ヲ得タイ日本ノ領土並ニ滿洲ニ於テ西伯利ト境ヲ接シテ居ルノデアリマス是等

ノ見地ヨリ日本ハ他國ノ如ク單純ニ參ラヌノデアリマス居
留民モ多クレバ商賣上ノ關係モ亦アル是モ他國ノヤウニ單
純ニハ參ラヌ殊ニ所謂過激思想過激派ノ行動ハドウ云フ
態度ヲ執テ如何ナル行動ヲ今後ニナスカヲ見ナケレバナラ
ヌ又其場合ニ於テハ日本ガ大ニ覺悟致サナケレバナラヌコ
トモアルカモ知レマセヌ此意味ニ依レバ總理大臣ノ意志ハ
明瞭デアリマス西伯利ノ駐屯軍ハ一部ハ在留民ニ備フル
タメ一部ハ過激派ニ備フルタメデアット云フ意味ニ於テ
一點疑問ガナカラウト思ヒマス然ルニ撤兵ノ理由ニ對シ
テ此議政壇上ニ於テ外務大臣ハ何ト云フ居リマス外務
大臣ハ斯ノ如キ言明ヲ致シテ居リマス「チタ」方面ニ於キマシ
テ是迄大分戰鬪ガ續キマシタガ今日ニ於テハ停戰ノ狀態
ヲ呈シ來リマシタ次第デゴザイマシテ又「チエック」スロ
ヴ「ク」軍ハ既ニ全部同方面ヨリ撤退致シマシタ事
實ニ顯ミマシテ豫テ宣言ノ趣意ニ從ヒマシテ本日官報ヲ以
テ聲明セラレマシタ通り同方面ノ撤兵ヲ開始スルコトニ致
シマシタ「シテ」見レバ此外務大臣ノ聲明ニ依レバ西伯利ニ
日本ガ兵ヲ駐屯セシメタコトハ「チエック」スロヴ「ク」援助ノ
爲メアル「チエック」スロヴ「ク」援助ノ目的ガ「既ニ「チタ」
方面ニ於テ「チエック」スロヴ「ク」ガ撤退シタガ故ニ其用務
ヲ完ウシタカラ撤兵シタト云フ聲明ニ外ナラナイデアリマ
ス若シ是ガ事實デナク其他ノ過激派ニ對シテ備フルコト
ガアツト云フナラバ私ハ政府當局者ニ伺ヒタイノデアル
此後政府當局ハ「チタ」方面ニ於テモ過激派ニ對シテ日本
國民ノ一言換フレバ西伯利在住者ノ生命財產ニ備フル
必要ハ無イノデアルカ無イト斷言出來ルカ之ヲ伺ヒタイ
ノデアリマス「判ラヌ」要領ヲ得ナイト呼フ者アリ又西
伯利ノ駐屯ガ全ク過激派ニ備フル爲メデナク「チエック」ス
ロヴ「ク」ノ援助デアッタモノデアラナラバ何故ニ或ル時ハ
「セミヨノフ」ヲ援ケタノカ何故ニ或時ハ「コルチャク」ヲ援
ケタノカト云フ疑問モ起ルデアリマス何故カナラバ其形
跡ノ明瞭ナルコトハ「セミヨノフ」陸軍大臣ガ「コルチャク」政府沒
落後我軍ハ非常ニ悲境ニ陥タ西伯利ノ狀態ハ混亂ニ
ナツタカラ我國ニ於テハ第十三師團ノ増兵ヲシタト云フコ
トヲ聲明シテ居リマス是ハ陸軍大臣ノ聲明デアリマス「西
伯利」兵ヲ出シマシテ以來滿洲派遣軍ハ極東各地ニ駐屯
致シテ居リマシタ秩序ガ漸ク維持セラレテ居タノデアリマ
ス然ルニ大正八年ノ暮ニ烏拉爾ノ戰線ガ失敗ニ終リマシ
タ其爲メニ「コルチャク」政府軍ガ段々不利ノ狀態ニ陥タ
ト云フコトハ皆樣能ク御承知ノコトデアリマス其結果遂ニ
「コルチャク」政府ハ沒落ヲ來シマシタ極東各地ノ所
謂社會革命黨ナルモノガ漸次過激派化シテ來タノデアリマ
ス是ガ爲メニ極東ノ情況ガ段々惡化シテ參リマシタ大正

九年ノ一月中旬ニ第十三師團ノ主力ヲ増派致シマシタト
聲明致シテ居リマス「コルチャク」政府沒落以來西伯利ニ
於ケル所ノ革命派ノ勢力ガ伸ビテ危險狀態ニ陥タガ故ニ
我國ハ總ニ増兵ヲシタト云フ言フ居リマス是ト外務大臣ガ
「チタ」方面カラ既ニ「チエック」スロヴ「ク」ガ歸還シタニ依
テ西伯利ノ兵ヲ撤兵シテ一部ハ滿洲ヘ一部ハ朝鮮國境ニ
引揚ゲタト云フ聲明トハ此間ニ自ラ矛盾ナルアルコトハ明
瞭デアリマス「拍手起ル」斯ノ如キ狀態デアリマシタガ故ニ
本年一月カラ今日ニ至テ日本ノ國民ハ何故ニ我國ガ
三万以上ノ軍隊ヲ西伯利ニ駐屯セシメ一億以上ノ國費ヲ
之ガ爲メニ負擔シナケレバナラヌカト云フ理由ガ明瞭デアリ
マセヌ之ニ就キマシテ政府ハ如何ナル理由ノ下ニ西伯利
ニ兵ヲ駐屯セシメタノデアルカ初メハ過激派ニ對スル爲メ
後ニハ「チエック」スロヴ「ク」ガ撤退シタト云フガ爲メ撤兵
スルト云フヤウナ矛盾ノ政策ハ初ヨリ根本ノ政策ガ立
テ居ラナンドデアルカ或ハ後ニ之ヲ變更シタノデアルカ
之ニ就テ政府ノ明確ナル御答辯ヲ煩シタイノデアリマス「拍
手起ル」簡單「明確ナル質問ヲ請フ」ト呼フ者アリ「第二ニ
私ノ政府ニ質問シヤウトスル所ハ對露政策ノ問題デアリ
マス「又速記録カ」ト呼フ者アリ御承知ノ如ク過去二三
年間我國ハ西伯利ニ於キマシテモ動モスレバ西伯利ノ
秩序ヲ維持シヤウトスルヨリハ過激派ヲ西伯利ニ於テ防
禦スルト云フヤウナ政策ヲ執タノデハナカラウカト云フヤ
ウナ疑問ガアツタノデアリマス今日ニ於キマシテハ露國ノ
所謂過激派ノ政府ト云フ「レニン」ノ政府ハ英國ニ於キマ
シテモ若々ト其承認ノ手續ニ入ラント致シテ居リマス佛
蘭西ハ「ロモノフ」朝時代ノ最近ノ關係上動モスレバ之ニ
躊躇遠慮スル態度ヲ示シテ居リマスケレドモ「レニン」政府
ハ成立後既ニ三箇年ヲ經過シテ居リマス歐米諸國ニ於テ
ハ「レニン」政府ヲ認メテ一日モ早ク露國內ノ平和ヲ克復
シ而シテ國際間ノ關係ノ建設セラレンコトヲ希望致シテ
居リマス之ニ對シテ日本ハ如何ナル態度ヲ執テ進ム積
リデアルカ之ニ對シテ政府ハ明確ナル所ノ對露方針ヲ有
シテ居ルカドウカ此點ヲ伺ヒタイノデアリマス「拍手起ル」
若シ之ニ對シテ我國モ早晩歐洲各國ノ例ニ倣フ「レニン」
ノ政府ヲ承認スルト云フ立場ニ立タウトスルナラバ是迄我
國ガ西伯利ニ執テ政策ヲ如何ニナサイマスカ「ヒヤ」ト
呼フ者アリ此間ニ於テ我國ガ從來西伯利ニ執テ政策ト
歐洲各國ガ露國ニ執テ居ル所ノ政策ト矛盾ヲ來シハシ
ナイカト云フコトヲ考ヘルモノデアリマス「拍手起ル」之ニ對
シテ私ハ政府ノ明確ナル所ノ方針ヲ伺ヒタイノデアリマス
第三ニ私ハ政府ニ御尋ヲシタイ事ハ對支政策ニ就テア
リマス内田外務大臣ハ山東問題ニ甚ダ重キヲ措イテ

對支政策ノ御説明ガアリマシタ講和談判成立以來日本
政府ハ山東問題ノ解決ニ對シテ支那政府ニ交渉致シ
タ然ルニ支那政府ニ於キマシテハ第一ニハ支那政府
ハ講和條約ニ調印シテ居ラナイト云フ理由第二ハ國
内ノ理由ノ爲メニ此談判ヲ日本帝國ハ進捗セシムルコ
トガ出來ナイト答ヘタ故ニ山東問題ハ日本ノ對支政
策上重要ナル問題デアルケレドモ支那政府ノ狀態既ニ
斯ノ如クデアラカ今日ニ於テハ中止ノ狀態デアル他日
支那政府ガ山東問題ノ解決ニ就テ自ラ進んで解決ヲ求
メテ來ラナラバ從來ノ方針ニ依テ日本政府ハ何時ナリト
モ是ト交渉ヲ開始スルコトヲ躊躇シナイ斯ウ云フ御説
デアリマシタ此點ニ就テハ寔ニ明瞭デアリマス山東問
題ノ支那トノ間ノ交渉ガ斯ノ如ク遷延ニ遷延ヲ重ネマ
スル所ノ根本ハ日支兩國ノ間ニ明確ナル所ノ了解ガナイデ
ハナカラウカ御承知ノ如ク昨今以來支那ニ於テハ隨分
排日ノ聲ガ盛デアリマス日本ノ政府國民ハ盛ニ日支親
善ヲ唱ヘテ居リマス併ナガラ支那ニ於キマスル所ノ事實ハ
之ヲ裏切リテ居ルデアリマス申スマデモナク我國ハ將來
支那ト親善ノ關係ヲ維持シテ參ラナケレバナリマセヌガ之
ニ就テハ日本ガ從來ノ如ク或時ハ南方派ヲ援ケ或時ハ
北方派ヲ援ケ或時ハ直隸派ヲ援ケ或時ハ安徽派ヲ援
ケルト云フ如キ狀態デハ幾度事ヲ繰返シテモ日支親善
ヲ完成セシムルコトハ出來ナイト信ジテ居リマス「拍手起
ル」之ニ對シテ日支親善ヲ圖ラウト致シマスルナラバ日本
ガ自ラ進んで支那ニ國策ガ樹テ居ラナイ四國借
款團ノ成立シタノモ或ハ其一部デアリマセウケレドモ大
體ニ於テ支那ニ對スル所ノ國策ガ樹テ居ラナイ未ダ會テ
私ハ此政府カラ支那ニ對スル所ノ根本的ノ政策ヲ伺
コトハアリマセヌ世界ノ大勢カラ見マセバ丁度明治ノ
初年ニ於テ日本ガ外國ト治外法權制度ノ條約ヲ結ビマ
シテ法權ト稅權トニ於テ外國ノ條約ニ拘束サレテ隨分
苦シク時代ガアリマス支那ニ於テモ今日治外法權制度ノ
爲メニ或ハ關稅ヲ外國ニ支配サレテ居ルガ爲メニ若ハ各
地ニ於テ各國共之ガ勢力範圍デアルト云フ勢力範圍ヲ
定メテ相爭ウテ居ルガ故ニ支那ハ非常ナル窮境ニ陥
居ルノデアリマス此場合ニ於テ日本ハ東洋ニ於テ支那ヲ
率テ支那國民ト共ニ東洋ノ文化ヲ發達セシメ東洋ニ
於テ歐米ノ文物ニ優レル所ノ文化ヲ作ル爲メニ進んで支那
ノ勢力範圍ヲ撤廢シ支那ノ稅制ヲ法權トニ自由ヲ與ヘ
テ支那ヲ率ユルガ根本政策ヲ樹ツル位ナ御考ガ有ルカ
無イカ之ヲ伺ヒタイノデアル若シ是ダケノ程度マデ進ムコ
トガ出來ナイシテモ早晩世界ノ大勢ハ此方面ニ向テ
日本ノ對支政策ヲ定メナケレバナラナイヤウニ餘儀ナク

ルデアラウト私ハ信ジテ居リマス、故ニ此方針ニ向テ日本
ガ一日早ク進メバ進ムタケ、日本ノ爲メニ有利ナルアルト思
フガ、此傾向ヲ作ルコトガ、日本ノ國家ニ有利ナリト現政
府ハ御考ニナルカドウカ、是モ伺ヒタイノデアリマス、(拍手)
第四ノ質問ハ日英同盟ノ問題デアリマス、日英同盟ノ協
約ノ期限ハ明年七月満了スル筈ト思ヒマス、ソレ故ニ原
内閣總理大臣モ、其施政ノ方針ノ一端ニ於テ斯ク述ベラ
レテ居リマス、日英同盟ニ就テハ、政府ハ目下考慮中デア
ル、故ニ此考慮ニ基イテ、英國トモ目下交渉ヲシテ居ルノデ
アルト、斯ウ云フヤウナ意味ニ諒解出來ルノデアリマス、御
承知ノ通り、既ニ國民外交ヲ以テ世界ノ大勢ト認メテ居
ル時代デアリマス、若シ一國ノ國務大臣ガ、日英同盟ノ満了
期前既ニ一箇年ノ今日ニナシテ居ル場合ニ、日英同盟ノ將
來ニ對シテハ、日本ハ大體ニ於テ此ノ如キ政策ヲ樹テ居
ル、是ニ向テ各國トモ交渉ヲ重ネテ居ルコト云フコトデア
ルナラバ、總理大臣ノ施政方針トシテ御尤ナ次第デアリマス、
然ルニ日英同盟ニ就テハ未ダ考ヘテ居ルガ、ソレニ依テ英
國政府ト交渉シテ居ルコト云フデハ、國民ハ如何ナル方針ニ
向テ、日本ガ日英同盟ノ繼續ヲ企テ、居ルノデアルカ、又
此廢棄ヲ企テ、居ルノデアルカ、國民ハ去就ヲ誤ルノデアリ
マス、私ガ申スマデモナク、日英同盟ガ初メテ締結サレマ
シタノハ、明治三十五年ノコトデアリマス、此時ニハ支那ノ
於ケル所ノ日英ノ利益ヲ防護スル爲メ、又朝鮮ニ於ケル所
ノ日本ノ勢力ヲ承認スル爲メト云フ條件ノ下ニ、締結サレ
タモノデアリマス、御承知ノ如ク、(分テ居ル)ト呼
フ者アリ、此事ハ日清戰爭ノ結果、我國ハ三國干渉ノ結
果、露國ノ勢力ヲ恐レタ、又英國ニ於キマシテハ、(分テ居
ル)ト呼フ者アリ、御承知ノ通り巴爾幹半島近東ニ於テ、露
國ノ勢力ガ漸次伸張スルノヲ恐レマシテ、之ニ對スル政策
トシテ日英同盟ガ出來タノデアリマス、又其結果日清日露
戰爭ガ行ハレマシテ、朝鮮ニ對スル所ノ日本ノ關係ガ變リ
(「簡單」ト呼フ者アリ)又巴爾幹半島ニ於キマスル所ノ獨
逸露國ノ勢力ガ、從前ト趣ヲ異ニシタガ故ニ、明治三
十五年ノ日英同盟ハ、五箇年ノ期限ガアツタニモ拘ラズ三
十八年ニ之ヲ改訂繼續サレテ居ルノデアリマス、此場合ニ
於キマシテモ、御承知ノ事デハゴザイマセウ、併ナガラ
一方ニ於テ、日本ハ露國ノ西伯利亞ニ於ケルト滿洲ニ
於ケル勢力ノ伸張ヲ恐レタ、英國ニ於テハ、巴爾幹半島
近東ニ於ケル所ノ獨逸露國ノ勢力ノ南進ヲ恐レタ、此共通
ノ利益ノ爲メニ——此共通ノ利益ノ爲メニ、共通ノ敵ニ對
シテ、支那、印度、朝鮮ニ於ケル所ノ兩國ノ特殊ノ利權ヲ防
禦シヤウト云フコトガ、日英同盟ノ根本ノ理由デアリマス、
凡ソ國ト國ト同盟ハ共通ノ——少クトモ共通ノ敵ガナケレ

バナリマセヌ、共通ノ敵ガアツテ、又同等ノ範圍ニ於ケル所ノ
利權、或ハ領土ノ保全ヲ欲スルガ爲メニ、同盟ハ締結サレ
ルノデアリマス、(分テ居ル)ト呼フ者アリ、若シシレガ御分
リデアリマスナラバ、日英同盟ヲ今日繼續スルト云フハ、如何
ナル根據ノ下ニ爲サレマスカ、之ヲ政府ニ伺ヒタイノデス、
(拍手)既ニ日英同盟——第一ノ日英同盟、第二ノ日英同
盟、明治四十四年ニ締結サレマシタ現行ノ第三ノ日英同
盟ノ根柢ハ、日本ハ朝鮮、滿洲、西伯利亞ニ於ケル所ノ露國
ニ對スルガ爲メニ、英國ニ於テハ波斯、土耳其、印度ニ於ケ
ル所ノ獨逸露國ノ勢力ニ對スルガ爲メニ、此同盟ガ締結サ
レタノデアリマス、然ルニ今日ハ露國ノ狀態ハ如何デア
ルカ、獨逸ノ狀態ハ如何デアリマスカ、シテ見レバ今日英同
盟ヲ繼續スルト云フ、今迄ノ日英同盟ノ根柢ハ無クナリマ
シタ、日英同盟ハ共通ノ敵ニ對シテ、或ル地帶ニ於ケル所
ノ兩國ノ領土利權ヲ防護シヤウト云フ所ノ目的ハ存在致
シマシテモ、共通ノ敵想ノ敵ハ倒レタ場合ニ、日英同盟ヲ繼
續スルト云フナラバ、如何ナル規定ヲ設ケマシテ、如何ナル
根柢ニ依テ、日英同盟ノ繼續ヲ爲サル積リデアルカ、之ヲ伺
ヒタイノデアリマス、又日英同盟ヲ繼續スルト致シマスレバ、
其ノ改定ハ如何ナル方針ヲ以テスルカト云フコトニ就キマ
シテ、日英同盟ノ一番ノ——第一番ノ要諦ト云フ所ノ日英
同盟ノ第二條ニ斯ノ如キ文句ガアリマス、(兩締盟國ノ一方
ガ挑發スルコトナクシテ、一國若クハ數國ヨリ攻撃ヲ受ケタ
ルニ依リ又ハ一國若クハ數國ノ侵略ノ行動ニ依リ該締盟
國ニ於テ本協約前文ニ記述セル其ノ領土利權若ハ特殊ノ利
益ヲ防護センガ爲メ交戰スルニ至リタル時ハ前記ノ攻擊又
ハ侵略ノ行爲ガ何レノ地ニ於テ發生スルヲ問ハズ他ノ一
方ノ締盟國ハ直チニ來リテ其同盟國ニ援助ヲ與ヘ協同戰
闘ニ當リ講和モ亦雙方合意ノ上ニ於テ之ヲ爲スベシ)是ガ
日英同盟ヲ現在ニ存立セシメテ置ク根柢デアリマス、此根
柢ハ國際聯盟ノ第二十條ニ抵觸スルモノデアリマス、國際
聯盟ノ第二十條ニハ、斯ノ如キ文意ガアリマス、「聯盟國ハ本
規約ノ條項ト兩立セザル聯盟國相互間ノ義務又ハ了解ガ
各自國ノ關スル限リ凡テ本條約ニ依リ廢棄セラルベキモノ
ナルコトヲ承認シ、且今後本規約ノ條項ト兩立セザル一
切ノ約定ヲ締結セザルコトヲ誓約ス、聯盟國トナル以前本
規約ノ條項ト兩立セザル義務ヲ負擔シタル聯盟國ハ直チ
ニ該義務ノ解除ヲ得ルノ處置ヲ執ルコトヲ要ス」此條項ト
日英同盟ノ第二條トハ兩立セザルモノデアリマス、(兩立シ
マス)ト呼フ者アリ、(「ミナラズ若シ此第二條ヲ兩立セシム
ルナラバ、國際聯盟ノ第十五條ノ仲裁ニ附セザル聯盟
國ノ紛爭ハ、聯盟會ノ理事ニ付託セラル、ト云フ規定ト、
十三條ノ規定ト」聯盟國ハ聯盟國間ニ於テ仲裁裁判ニ附

シ得)ト云フ規定ヲ如何ニ爲サイマスカ、國際聯盟ノ精神ハ
成ルベク國際間ニ戰爭ヲ生ゼシメザルト云フコトニ在ルノデ
アリマス、然ルニ日英同盟ノ根本ハ、成程東洋ト印度ニ於
ケル所ノ平和ノ維持ノ爲メデアリマス、ケレドモ、萬一ノ
場合ニ兩國ノ意思ニ於テ、何時タリトモ、其ノ一國ガ戰爭ヲ
開ク場合ニ於テハ、之ニ他ノ國ガ參加スベキ所ノ規約ガア
ルノデアリマス、日獨戰爭ニ、日英同盟ノ理由ニ依テ日本ガ
開戰ヲシタノモ、此第二條項ニ依ルコトハ明カデアリマス、
然ルニ國際聯盟ハ斯ノ如キ事ヲ爲サセナイノデアリマス、是
ガ國際聯盟ノ精神ト條項トニ抵觸シナイト云フ理由ハ、如
何ナル方面カラ解釋致シテモ無イノデアリマス、然ラバ政府
ハ日英同盟ヲ繼續スルト云フコトデアラナラバ、如何ナル根
據ニ基イテ、如何ナル所ノ改訂ノ條件ヲ以テ御繼續ナサル
意志デアルカドウカ又之ヲ廢棄スルト云フナラバ、如何ナル
方針ニ依テ之ヲ廢棄ナルカ又若シ日英同盟ヲ改訂繼續
スルト云フ場合ニハ、英國ノ領土ナル滿洲加奈太、新西蘭
等ニ對シテ、如何ナル所ノ政府ハ處置ヲ講ズル積リカ御承
知ノ如ク歐洲戰亂前ニ於キマシテハ、滿洲モ、加奈太モ、英
國ノ外交ト軍事ニ對シテハ殆ド喙ヲ容ルベキ所ノ權能ヲ
有シテ居リマセヌ、然ルニ、歐洲大亂後、滿洲ニ於テモ、加奈
太ニ於テモ、英國ノ外交軍事ニ於テ容喙スベキ所ノ權能ヲ
認メラレマシタ、之ニ就キマシテハ、日英同盟ヲ繼續スルトス
レバ、是等ノ問題モ十分ニ考慮シナケレバナラナイト思ヒマ
ス、是等ニ對スル所ノ政府ノ態度方針ヲ伺ヒタイノデア
リマス、(拍手スル者アリ)第五御尋シタイ事ハ排日問題ノ事
デアリマス、御承知ノ如ク、千九百七年以來ノ事デアリマス、
レドモ、英國ノ太平洋沿岸ニ、日本人排斥ノ聲ガ盛ニ起
ルノデアリマス、最近ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク加州ニ
於テハ、日本人ニ土地ヲ貸セルコトモ、家屋ヲ貸セルコトモ、
禁ズルト云フ法律ヲ作ラウト云フヤウナ運動ガ起テ居リマ
ス、當ニ日本カラ英國ニ移住シタル者ニ對シテ、借地權
或ハ借家權ヲ與ヘナイト云フバカリデナク、英國ノ憲法ニ依
テ保障サレテ居ル所ノ、英國ニ生レタ日本人ニ對シテスラ
動モスレバ此權利ヲ否定シヤウトスル所ノ、排日運動ガ盛
ニ起テ居ルノデアリマス、然ルニ我國ノ外務省ノ——是ハ
外務省ノミト言ヒマセヌ、從來ノ方針ハ、英國ニ於ケル所ノ
我國ノ日本人、我が日本人ノ權利ヲモ外務省ハ主張スル
コトナクシテ、却テ排日病或ハ一ツノ排日ヲ土臺ニスル政
治家ノ煽動機關ガアリマスレバ、之ヲ恐レテ自ラ退嬰々々ノ
政策ヲ執ッテ來タ、其實例ヲ一ツ申上ゲマス、亞米利加ニ於
ケル所ノ日本人ハ、男女ヲ合セテ十二万以上デアリマス、女
子ガ三萬五千、男子ガ八萬八千以上アルノデアリマス、之
ニ依テ見マシテモ、四萬五萬ノ在米ノ日本人ハ獨身者デアリ

マス、是が妻ヲ迎ヘル唯一ノ方法ト致シマシタノハ、今日マ
デ寫眞結婚ニ依テ行ハレテ居タノデアリマス、寫眞結婚ト
云ヘバ、一應異様ノ感ガアリマスケレドモ、我國ノ結婚制度
ハ悉ク寫眞結婚ニ劣ルト申シテモ差支ナイ
(無用々々)ト呼フ者アリ、デ此寫眞結婚ハ弊害ガアルト云
フコトヲ傳ヘマシタケレドモ、事實弊害ハ極メテ輕微ナモノ
アルト云フ事實ヲ舉ゲテ説明シマス、我國ノ結婚ニ於キマシ
テ、少クモ統計ノ上ニ現レタ離婚ノ數ハ、二割五分ニ達シテ
居リマス、統計ノ上ニ現レナイ一戸籍ノ上ニ現レナイ離婚
ノ數ヲ見マス、百ニ對シテ少ナクモ三十五以上デアリマス、
寫眞結婚ニ於キマシテ離婚ノ數ハ恐ラク五分ヲ上ラナイモ
ノト思ヒマス、百人ニ就テ恐ラク五人乃至六人ハアリマシテ
モ、十人ヲ越エルヤウナコトハ無イ、此事實カラ見マシテモ、
寫眞結婚ノ弊害ノ極メテ輕微デアルト云フコトハ、明瞭ナ
ル事デアルト思ヒマス、ノミナラズ在米ノ婦人ハ、日本人ノ
男子ヨリハ、彼等ノ地位ニ満足シテ居リマス、米國ノ社會的
狀態デハアリマスケレドモ、故國ニ於ケル所ノ婦人ヨリハ、一
家ニ於キマシテモ、社會ニ於キマシテモ、米國ニ於ケル所ノ
日本人婦人ハ好遇サレテ居リマス、此意味ニ於テ、寫眞結婚
ノ弊害ト云フモノハ殆ド無イト云、デモ宜イ、然ルニ寫眞結
婚ノ結果、幾分日本人ノ米國ニ於ケル所ノ人口ヲ増スニ
至ラト云フコトハ明瞭デアリマス、之ガ爲メニ或ル勞働黨、
或ハ「フエシヨナルボリチン」ガ、自分ノ地位ヲ造ラウトス
ル爲メニ、寫眞結婚ノ爲メニ、東洋ノ民族ガ加州ニ於テ非
常ニ増加スル、是ハ米國ニ取テ危險ナルモノデアルト一度
之ヲ叫ビマスレバ、之ガ爲メニ外務省ハ僻易シテ、自ラ求メ
テ寫眞結婚ヲ禁止シタノデアリマス、是ハ私ガ何故斯様ナ
事ヲ質問ノ爲メニ申スカト言ヘバ、斯ウ云フ事デアリマス、
亞米利加ノ憲法ニ依リマシテモ、亞米利加ノ國民ノ精神ニ
依リマシテモ、亞米利加全體ノ輿論ニ依リマシテモ、是以上
ニ日本人ヲ米國ニ移住セシムルト云フコトニ就テハ、異議ガ
アリマセウ、併ナガラ米國ノ憲法、米國民ノ精神、思想ニ依リ
マシテ、今日米國ニ在住シテ居ル所ノ日本人ノ幸福ヲ圖ル
ト云フコトニ就テハ、一點ノ異議ハ無イ筈デアリマス、此點
カラ行キマシテモ、日本人ノ發展ノ爲メ、日本人ヲシテ一家
ヲ成サシメ、日本人ノ幸福ヲ求ムル點ニ於テ、寫眞結婚ハ
日本ノ結婚制度ト異ラナイモノデアアル、之ニ依リヨリハ、在
米日本人ノ一家ヲ形成スル途、幸福ヲ増進スル所ノ途ガ
無イト云フコトヲ、米國ニ向テ聲明致シマスレバ(拍手)米
國ハ反對シナイデアアル、然ルニ外務省ハ如何ナル事ヲシタ
カ、外務省ハ自ラ進ンテ寫眞結婚ヲ禁止シタノデアリマス、
自分自國ノ主張スヘキ權利ヲ海外ニ於テ主張スル能ハズ
而モ其主張ハ米國ノ輿論自ラ之ヲ認ムル所デアリマス、ソ

レニ就テ此主張ヲ爲サズシテ、自ラ日本人ノ五万以上ノ家
庭ヲ作ル途ヲ禁止シタト云フコトハ、是ガ排日ノ勢力ヲ援
助スルモノデアルト信ジテ居リマス(拍手)何故ナレバ外國
人ノ心理狀態ヲ御承知ノ御方ハ、之ニ就テ異議ガアル筈ハ
ナイ、外國人ハ權利ヲ主張シテモ對手ガ善ト認ムレバ讓リ
マス、又此方デ退ケバ、如何ナル程度デモ向フノ主張ヲ主
張シテ參リマス、此心理狀態ヲ承知シテ居リマシタラバ
(何ダソレガ)ト呼フ者アリ、外務省自ラガ排日ノ勢力ヲ助
長スル所ノ一ノ行動ヲ敢テシタト云、デモ、差支ナカラウト
信ジマス(ヒヤ)「拍手」ノミナラズ今日ノ加州ニ於ケル所
ノ日本人ニ對シテ土地家屋ヲ賃貸借サセナイト云フヤウナ
運動ニ就キマシテハ、外務省ガ米國ニ對シテ此權利ヲ主張
スルニ、何ノ憚ル所ガアリマセウ(拍手)外務省ガ米國ニ於
ケル日本人ニ對シテ、何故ニ總テノ外國人ト共同ナル權利ヲ
求メナイノデアアルカ(冷靜ニヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ、米國ニ
居ル所ノ日本人ヲ將來發達セシムル途ヲ講ズルコトガ、單
リ日本ノ爲メ有利ナル事ノミナラズ、米國ノ爲メニモ有利
ナル事デアリマス(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」將來日本ハ、米
國ト親善ノ關係ヲ保テ行カケレバナラナイコトハ、明瞭デ
アリマス、ソレニ就キマシテ、米國ニ排日運動ヲ起サセレバ
起サセルダケ、日本國民ハ米國ノ一部ノ排日運動ヲ以
テ全體ノ排日運動ナリト誤解致シマス(ノウ)「ト呼フ
者アリ」又米國ノ側カラ致シマスレバ、此排日運動ニ對ス
ル所ノ日本人ノ反感ヲ以テ、日米ノ間ノ一ノ障礙ト考
ヘルノデアリマス、故ニ加州ニ於ケル所ノ排日問題ニ就
キマシテ、日本國民ノ權利ヲ何所マデモ主張シ、日本國
民ノ米國ニ於ケル者ニ對シテハ、其他ノ外國人ニ對ス
ルト、同等ナル所ノ保護ト權利ヲ主張スルコトハ、日本ノ爲
メノミナラズ、米國ノ爲メモアリ、日米親善ヲ完ウスル所
以デアリマス(ヒヤ)「然リ」議論ハ立派ダト呼フ者ア
リ、笑聲起ル)尙ホソレノミナラズ、排日問題ニ對シテ、モウ
一ツ私ハ申サケレバナラナイ事ガアル、是ハ諸君ガ御承知
デモゴザイマセウ、今年ノ春、而モ米國ノ太平洋沿岸西部
諸州ニ於テ、第一ノ教育者ト認メラレテ居ル日米親善ノ爲
メニ來タト云フ所ノ加州大學ノ總長ノ「ホイラー」デアリマ
ス、是ガ日本ニ參リマシタ時、日本ノ朝野デハ之ヲ重大視
シテ、相當ノ歡迎モ致シマシタ、又努メテ日本ノ諒解ヲ得ル
コトニ致シマシタ、然ルニ此「ホイラー」ガ桑港ニ著キマシテ、
第一ニ聲明シタ事ハ何デアリマス、日本ノ事情ヲ觀察シテ
歸タ、然ルニ東洋人ト——東洋人、而モ日本人ト米國人ト
ノ間ニハ、侵スベカラザル所ノ溝渠ガアル、日本人ハ生レナガ
ラニシテ軍國主義ダ、日本ノ政策ハ軍國主義ノ政策デア
ル、米國ハ之ニ反スルモノデアルガ故ニ、日米ノ間ニ於テ親

善ヲ完ウスルコトハムツカシイ、ノミナラズ米國ニ於ケル所ノ
日本人ト、米國ノ社會ト調和スル所ノ望ガナイト聲明シタ
デハアリマセウカ、之ニ就キマシテ私ハ考慮ヲ煩スコトハ、私
ノ政府ニ對スル質問ハ蓋シ此疑問ハ、(冷靜ニヤレヨ)「シ
カリヤレ」ト呼フ者アリ、蓋シ此疑問ハ、單リ「ホイラー」ノミナ
ラズ、排日運動ノ根柢ニ常ニ横テ居ルモノデアリマス、日本
人ハ加州ニ來、テスラ劍ヲ提ゲヤウトシテ居ル、日本人ハ加
州ニ來、テスラ、刀ヲ懷中ニ提ゲヤウトシテ居ル、云フコトガ、
排日運動ノ最モ強イ根柢デアリマス、(ノウ)「ト呼フ者
アリ」此誤解ヲ日本人トシテ解カラナケレバナラズ、(ドウシ
テ解キマス)ト呼フ者アリ、然ルニ其目的ノ爲メニ爲サレタモ
ノデアルトハ私ハ申シマス、昨年ノ議會ニ於テ、定メタ徵
兵令ノ施行細則デアリマス、此施行細則ニ依リマス、ト云フ
ト、外國ニ居ル者——如何ナル業務ヲ營ムガ、外國ニ居ル
者三十七歳未滿ノ者ガ日本ニ歸リマシテ、一月以内ニ日
本ヲ立去ラナイ場合ニハ、兵役ノ義務ヲ負ハシムルコトニ
ナ、テ居リマス、日本ノ國民トシテ——日本ノ國民ト致シテ
兵役ノ義務ノ大切ナルコトハ申シマス、併ナガ
ラ此年々六七十萬増加スル所ノ人口ヲ以テ、此限リアル領
土ニ於テ日本ノ將來ノ發展ヲ圖ルトシマス、海外ニ
於ケル者ガ商用ノ爲メ、或ハ妻帯ノ爲メニ一箇月日本ニ
歸リ、其間ニ用事ヲ済マサケレバ、直チニ兵役ノ義務ヲ
負ハサレルト云フコトデハ、單リ日本ノ海外發展ガ出來ナ
イバカリテナイ私ハ海外發展ガ出來ナイト云フコトヨリハ、
排日問題ニ就キマシテ是等ノ事ガ——即チ加州ニ於テ澤山
ノ資本ヲ投ジテ、米國ノ土地ニ於テ事業ヲ營ンデ居ル日本
人ガ一寸歸テ來テ一箇月以内ニ日本ヲ立去レバヨシ
然ラザレバ直チニ兵役義務ニ服セシムルト云フヤウナ事ハ、
「ホイラー」ノ聲明シタ所ノ日本人ノ軍國主義ヲ、事實ノ上
ニ裏書スルヤウナコトニ誤解サレモ、デハナカラウカ、(拍
手)是ハ單リ排日問題ニ就テバカリデナイ、私ハ日本ノ國策
トシテ、日本ノ海外發展トシテ、考慮スベキ問題デアルト思
ヒマス、是等ニ就テモ、米國ニ於テハ日本ヲ軍國主義デア
ルト云フヤウニ、疑感ヲ懷イテ居リマス、デスカラ、之ニ就キ
マシテ外務大臣ハ、是等ノ疑感ヲ解決シ御計畫ガアリマス
否ヤト伺ヒタイノデアリマス(シカリ)「ト呼フ者アリ」以
上ハ私ノ政府當局者ニ問ハントスル所ノ質問ノ要旨デアリ
マス、之ニ就キマシテ、成ルベク政府ハ明瞭ニシテ御深切ニ
而モ日本人六千萬人、何人ガ聽イデモ胸ニ落タルト云フヤ
ウナ御答辯アラント切ニ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 內田外務大臣

○國務大臣(子爵內田康哉君) 唯今植原君ヨリ御質問

ニ對シテ、私ヨリ御答致シマス、御質問ハ五點ニ分レテ居ル、第一「ナタ」方面撤兵ノ件ノヤウニ聴取シマシテゴザイマス、此日本ノ西伯利ニ對シテ方針ヲ始終變テ居ル、一定シテ居ナイト云フ御議論ガ、此御質問ノ根源ヲ成シテ居ルヲラウト思フ、私ハ其根源ヲ明ニシタナラバ、總テ明ニナルコトデアラウト思ヒマス、日本ノ西伯利方面ニ對シマシテ是マデ執テ來マシタ方針ハ、即チ屢々聲明ヲ致シマシタ通りニ、其出兵ノ目的ガ「チエックスロウアック」ノ救援ニ淵源シタコトハ、申スマデモナイ話デアリマスガ、如何セン日本ノ東部西伯利方面ニ對シテ關係ハ、英米ト其情ヲ異ニシテ、唯ダ單一ニ初メ出兵シタル所ノ目的サヘ達スレバ、ソレドシテ「引去テ來レバ宜イ」ト云フ譯ニ行カナイ、即チ接壤ノ關係ヲ顧ミ、鮮滿ニ對シテ脅威排除セラレ、又滿洲方面ニ居ル所ノ多數ノ居留民ノ保護モ考ヘナケレバナラマ、斯ノ如キ事情ガアルニ依テ、單ニ英米其他ノ國ノ執リシ態度ト、同様ニ行ク譯ニ行カナイト云フコトハ度々聲明シタ次第デアリマス、即チ其趣旨ハ本年三月三十一日ノ宣言書ニ最モ明ニ示シテアリマス、決シテ此東部西伯利ニ對シマシテ是迄政府ノ執リマシタル所ニ何等扞格ヲ來シタコトハ無イ、此度「ナタ」方面ヨリ撤兵致シマスルノモ、其宣言ノ一部ヲ實行スルニ過ギナイ話デアル、併シナガラ唯今申上ゲル通り、滿洲方面ニ於テハ、未ダ我接壤地方ニ對シテ脅威ガ排除セラレザルノミナラズ、近頃ニ於テハ朝鮮北境ニ於テ、屢々朝鮮人ガ襲撃ヲ試ミテ居ル、其多クハ矢張西伯利ニ於ケル所ノ過激派ヨリ、武器や彈藥ノ供給ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスカラ、此方面ヨリ撤兵スルコトハ出來ナイ、是モ此間ノ宣言ニ明ニシタ次第デアルノデス、然ルニ「ナタ」方面ニ於キマシテハ、昨今頃ハマダ各方面で戰鬭ヲ致シテ居リマシタ、幸ニ其後今日ニ於キマシテハ、停戰ノ狀態ヲ呈シテ參リマシタ、最早「チエックスロウアック」軍モ全部彼ノ方面ヨリ撤退ヲシテ、何等脅威ヲ拂フ所ノ必要ガ無キニ依リ、彼ノ方面ニ於ケル所ノ兵ヲ全部撤退スル、併ナガラ他ノ目的タル所ノ戰場地方ノ「接壤地方」ノ安定ヲ圖リ、其脅威ヲ排除スル爲メニハ、未ダ撤兵スルノ域ニ達セナイニ依リ、滿洲方面ニ於ケル所ノ兵ハ、其儘當分駐メテ置キ、斯ウ云フ宣言ヲシタ次第デアリマス、又西伯利ノ方針ニ關シマシテ、總理大臣、又陸軍大臣、又外務大臣ノ間ニ色々見解ヲ異ニシテ居ルト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ今日ニ始メテ話デアリマセヌ、昨年ノ議會ニ於テ、度々此質問ガ出マシタカラシテ、三大臣ヨリモ明確ニ、決シテ扞格ヲシテ居ナイト云フコトヲ辯明シタ次第デアリマスカラ、茲ニ更ニ之ヲ繰返ス必要モ無イト私ハ思ヒマス（「ノウ」）「ヤルベシ」ト呼フ者アリ）是デ第一點ハ盡シタト思ヒマスガ、第二

ハ對露政策ニ關シテ、御質問デアリマシタガ、是ハ能ク御趣意ヲ聴取リマセヌデシタガ、斯ク云フ御趣意デアラウト思ヒマス、ソレハ今日莫斯科ノ政府ノ其代表者トシテ、莫斯科政府ノ閣僚ノ一人タル「クラシン」ガ出デ居ル、之ニ「ロイドジョージ」ヤ其他ノ英吉利ノ閣員ガ接觸ヲシテ、結局勞農政府ヲ承認スルニ行クガモ知レナイ、若シ歐米ニ於テハ、ハ除キマス、歐羅巴ニ於テ此勞農政府ヲ承認シタ曉ニハ、日本ガ西伯利ニ於テ執タル態度ト扞格スルデハナイカ、斯ウ云フ風ノ御質問ト思ウタデアリマス、然ルニ目下英國ニ於ケル「クラシン」ニ對シテ英國政府ノ交渉ハ、決シテ勞農政府ヲ承認スルコト云フコトヲ目的トシテ居ナイ、此事ニ就テハ我が代表者モ其議ニ與テ、能ク事情ヲ知テ居ラレハ、佛蘭西伊太利等トモ相談ノ結果、即チ「サンレモ」ノ商議ノ結果トシテ、露西亞ト通商關係ヲ開クト云フコトナラザル、ケレドモ通商關係ヲ開クト云フコトガ、自然莫斯科政府ヲ承認スルコト云フヤウナ事ニナラザル、甚ダ面白カラザル事デアラカラ、之ヲ承認シナイト云フコトヲ條件トシテヤテ居ル次第デアル、今日ノ場合ニ於テ、莫斯科政府ガ全然其方針ヲ改メ、其主義ヲ改メタナラザラズ、今日ノ彼等ノ主張スル所ニ於テ、之ヲ承認セントスル國ハ、恐ラク一國モ無カラウト思ウテ居リマス、又「クラシン」トノ商議モ其後殆ど中止ノ姿デアデ「クラシン」ハ今月初ニ莫斯科ニ向テ歸テ行クヤウナ次第デアル、更ニ來テ商議ヲ開始スルヤ否ヤハ分リマセヌ、第三點ハ對支政策ノ御質問デアリマシタガ、對支政策、殊ニ山東問題ノ今日ニ至ルマデ紛糾ヲ重ネテ、其解決ヲ見ザルハ、是マデノ「此政府ト云ハズ、前ノ政府、其前ノ政府」ニ於テモ方策ヲ誤テ、北ヲ援ケ南ヲ援ケシテ居ルカラ、斯ノ如キ事ヲ來スト云フヤウナ御質問ノヤウデアリマシタガ、現政府ニ於キマシテハ、就任早々其方針ヲ明カニシテ、斯ノ如ク南ニ偏シ、北ニ偏スルヤウナ政策ヲ一切シナイト云フコトヲ斷言シ、又其政策ヲ今日迄保持シテ居ル次第デアルノデス、唯ダ此對支政策ニ關シテ日本ガ率先シテ支那ノ法權或ハ稅權ヲ恢復シテヤルガ宜イデナイカ、自國自ラ其經驗ヲ積ンデ來テ居ル日本トシテ、當ニ爲スベキモノデアルト云フ御議論デアッタガ、是ハ私ハ滿腹ノ同意ヲ表スルノミナラズ、此意味ニ於テ既ニ是迄モ多少試ミタコトガアルノデス、今日ノ五分稅ヲ完全ニシテ、是迄ハ二分カ三分ニ當タモノヲ、五分ノ稅ヲ取ルト云フコトニナラデ居ル、即チ一昨年ト思ヒマス、上海ニ於テ會議ヲ開イタコトモ、此精神カラ出デヤテ居ル話、又法權ノ恢復ニ就テモ、是ハ色々ノ準備ノ要ル話デアリマシタ、法典モ編纂シナケレバナラヌ、裁判官モ養成シナケレバナラヌ話デアラカラ、是等ノ點ニ於テハ、出來得ル限りノ便宜ヲ與ヘル、又是迄與ヘタ、

我が司法部ニ於テモ、支那ノ裁判官ガ來レバ十分ニ便宜ヲ與ヘテ色々ノ觀察モ遂ゲシメテ居ルヤウナ次第デアル、斯ノ如キ御趣意ノ事ハ、今後モ出來得ル限りハ致シタイト思フ、願クバ一日モ早ク法權稅權共ニ恢復サレテ、我隣邦ニ鞏固ナル獨立國ノ現出スルコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、第四點ハ日英同盟ニ對シテノ御質問デアリマスガ、是ハ既ニ先日ノ私ノ外交經過報告ニ於キマシテ申シマシタ通り、今日英吉利ト打合せヲ開始シテ居ル次第デアリマスカラ、國際慣例ニ顧ミ、又英吉利ニ對シテ我國ノ禮讓ヲ致シマシテ、此問題ニ就テ茲ニ公言スルコトハ斷然出來ナイ次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス（拍手起ル）最後ノ米國排日ノ事ニ就テノ御質問デアリマスガ、是ハ洵ニ憂フベキ事デアリマス、御説ノ通り今日「カリホルニア」ニ於テ、一部ノ排日論者ノ中ニ一般投票ニ訴ヘテ、日本人ニ對スル土地所有、又借地總テモノヲ剝奪セントスル企圖アリ、甚ダ痛心ニ堪ヘザル次第デアリマス併シ是ハ彼地ニ於ケル十何万ノ居留民ノ爲メ又日米ノ國交ニ顧ミマシテ最モ慎重ナル考慮ヲ拂ヒ、最モ慎重ナル手續ヲ執ラナケレバナラヌ問題デアリマシタ、今日此議場ニ於テ外務當局トシテ、此問題ニ對シテ十分ニ御質疑ニ應ジテ御答スルコトノ出依ナイノハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、是ハ國益ニ顧ミテ致方ナイコト、御承知ヲ願ヒタイ、併シ政府ト致シマシテハ我人民即チ我移住民ノ正當ニ受クベキ又正當ニ受ケテ居ル既得ノ權利ヲ尊重スルコトニ就テ、出來得ル限り盡力ヲシテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、尙ホ先般此方ニ參リマシタ、或ル一教授ノ言説トシテ御引用ニナシタコトガアリマス、是ハ個人ノ觀察、個人ノ意見デアルカラ致方ナイ話、然レドモ先般亞米利加ヨリ多數ノ人ガ來タイノモ、總テ日本トノ諒解ヲ得、又日本ヨリ多數ノ人ガ來タイト云フコトカラ出タ話デアリマス、其中ノ一人タリシ人ガ歸テ、尙ホ前説ヲ改メラレタト云フコトデアレバ、是ハ致方ガナイ話、併ナガラ是等ノ誤解ハ十分ニ解クヤウニ、今後ト雖モ其途ハ講ズルコトヲ懈ラヌ積リデアリマス、尙ホ寫眞結婚ノ事ニ就テ御質疑ガアリマシタガ、是ハ前議會ニ於テ總理及私ヨリ十分ニ説明ヲ致シテ、洵ニ是モ已ムヲ得ザル方法ニ出タ話デアリマス、今日茲ニ更ニ之ヲ繰返ス必要ハ無イト思ヒマス（拍手起ル）

○岩崎勳君 議長

○議長（與繁三郎君） 岩崎勳君

○岩崎勳君 去ル三日當議場ニ於ケル國務大臣ノ演説ニ對スル質疑ハ、本日ハ此程度ニ止メテ、日程ヲ審議セラレ、兩餘ノ質疑ハ、明後八日定刻ヨリ本會ニ繼續セラントコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ岩崎勳君ノ動議ノ如ク決シマシテ、是カラ日程第一大正八年法律第五號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、一應政府委員ノ説明ヲ——牛塚政府委員

第一 大正八年法律第五號中改正法律案 第一讀會

(政府提出)

大正八年法律第五號中改正法律案

「百五十五萬五千四百八十八圓」ヲ「二百七十七萬七千六百八十三圓」ニ改ム

〔政府委員牛塚虎太郎君登壇〕

○政府委員(牛塚虎太郎君) 私ヨリ本案提出ノ理由ヲ説明致シマス、本案ハ今年十月一日ヲ以テ實施セラレマスル、我が第一回國勢調査ノ爲メニ市町村デ要シマスル經費ニ充ツル爲メニ國庫カラ補助致スコトニ決シタル金額ガ、百五十幾萬圓ト云フコトニナッテ居タルデアリマス、其後物價騰貴ノ理由ニ依リマシテ之ヲ増額シテ二百七十七萬幾ラト云フコトニ致シタイト云フノガ、本案提出ノ理由デアリマス、施行ノ期日モ迫リ、差迫テ居リマス、又本案ハ既ニ前期議會ニ於テ本院ヲ通過致シタル、至極簡單ナ案デアリマス、ドウカ御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレコトヲ希望致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ岩崎勳君ノ動議ノ如ク決シマス、日程第三、大正八年法律第九號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——神野大藏次官

第三 大正八年法律第九號中改正法律案 第一讀會

(政府提出)

大正八年法律第九號中改正法律案

「二百六十一萬四千九百五十二圓」ヲ「三百四十五萬二千二百二十九圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員神野勝之助君登壇〕

○政府委員(神野勝之助君) 大正八年法律第九號ニ依リマシテ、造幣局ノ鑄造ノ能力ヲ増シマスル爲メニ、百十一萬餘圓ト云フモノヲ造幣局資金カラ一般會計ニ繰入レマシテ、造幣局ノ設備ヲ擴張スルコトニナッテ居ルデアリマス、銀貨ガ騰貴致シテ居リマス爲メニ、暫ク銀貨ノ鑄造ヲ見合セマシテ、其代リニ多クノ白銅貨、並ニ青銅貨ヲ鑄造致シタイト云フ計畫ヲ以テ、更ニ七十三萬圓計リ、並ニ既定計畫ニ對スル物價騰貴ノ爲メノ不足九萬圓、合計八十三萬圓計リ、造幣局資金カラ一般會計ニ繰入レマシテ、ソレヲ財源トシテ、更ニ造幣局ノ設備ヲ擴張致シタイト云フ改正案デアリマス、御審議御協賛ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第四、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第五、大正九年勅令第四十八號ヲ議題トシマス——床次內務大臣

第五 大正九年勅令第四十八號(承諾ヲ求ムル件)

大正九年勅令第四十八號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ、樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ獨逸國等ニ屬スル財產管理ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正九年三月二十四日

內閣總理大臣兼	原 敬
司法大臣	加藤友三郎
海軍大臣	子爵內田 康哉
外務大臣	子爵高橋 是清
陸軍大臣	男爵高橋 是清
農商務大臣	田中 義一
內務大臣	山本 達雄
文部大臣	床次竹二郎
逓信大臣	中橋德五郎
	野田卯太郎

勅令第四十八號

第一條 政府ハ獨逸國、奧地利、洪牙利國若ハ土耳其國ニ屬シ又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル財產ヲ管理スルコトヲ得

第二條 政府ハ前條ノ財產ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ其ノ財產ノ所在、種類、數量、價額、權利狀態其ノ他管理ニ必要ナル事項ノ申告ヲ命スルコトヲ得

第三條 當該官吏又ハ吏員ハ第一條ノ財產ニ關シ調査ノ爲必要ナル場所ニ立入り若ハ檢査ヲ爲シ又ハ其ノ財產ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ調査資料ノ提供ヲ命シ若ハ供進ヲ求ムルコトヲ得

第四條 第一條ノ財產ノ管理ハ當該官廳ノ管理命令ヲ以テ之ヲ開始ス

第五條 當該官廳ハ管理財產ニシテ登記又ハ登錄ノ規定アルモノニ付テハ管理財產タル旨ノ登記又ハ登錄ヲ關係ノ官廳其ノ他囑託又ハ請求スヘシ

當該官廳ハ管理財產債權ナルトキハ管理財產タル旨ヲ債務者ニ通知スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘキ財產ノ管理ハ登記若ハ登錄又ハ通知アルニ非サレハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第六條 前二條ノ規定ハ財產ノ管理ヲ終了スル場合ニ之ヲ準用ス

第七條 當該官廳ハ管理財產ノ所有者又ハ保管者ニ對シ其ノ引渡ヲ命スルコトヲ得

第八條 管理ニハ財產ノ換價其ノ他ノ處分ヲ包含ス

政府カ擔保權ノ目的タル管理財產ヲ換價シタルトキハ擔保權ハ代金ノ上ニ存在ス此ノ場合ニ於テハ其ノ代金ハ別ニ之ヲ保管スヘシ

第九條 第一條ノ國、國人又ハ法人ハ其ノ者ニ屬スル管理財產ニ關シ處分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 管理財産ハ管理ニ依リテ生シタル權利ニ基ク
場合ヲ除クノ外民事上ノ強制執行又ハ競賣ヲ爲スコ
トヲ得ス

第十一條 財産ノ管理ニ要スル費用ハ本人ニ屬スル管
理財産ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第十二條 財産ノ管理ヲ免ルノ目的ヲ以テ財産ノ隱
匿、處分、毀棄ヲ爲シ若ハ爲サムトシ行爲アリタル者
又ハ情ヲ知リテ其ノ處分ヲ受諾シタル者ハ三年以下
ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ
懲役若ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス
一 第二條ノ規定ニ依リ命セラレタル申告ヲ爲サス
又ハ虛偽ノ申告ヲ爲シタル者

二 第三條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務
ノ執行ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ調査資料ヲ提供ヲ
爲サス若ハ虛偽ノ調査資料ヲ提供シ又ハ供述ヲ
拒ミ若ハ虛偽ノ供述ヲ爲シタル者

三 第七條ノ規定ニ依リ引渡ノ命令ニ應セサル者
附則
本令ハ大正八年勅令第三百四號失効ノ日ヨリ之ヲ施
行ス

〔國務大臣床次竹二郎君登壇、拍手起ル〕
○國務大臣(床次竹二郎君) 説明ヲ致シマス、戰時獨逸
奧地利、洪牙利、及土耳其國內ニ於テ、帝國、帝國臣民及
法人ノ受ケタル損害、並ニ其上記各國政府人民及法人ニ
對シテ有スル帝國、帝國臣民及法人ノ債權ハ、我が國內ニ
存在セル彼等ノ財産中ヨリ補償ヲ得ラルベキ情勢デアリマシ
タノデ、豫メ是等ノ財産ヲ確保管理シ置ク爲メニ、彙ニ大
正八年勅令第三百四號ヲ公布セラレタノデアリマシタ、而
シテ此勅令ハ將來向ホ其效力ヲ有セシムル必要上、其承
諾ヲ求ムル爲メニ、彙ニ第四十二回帝國議會ニ提出ニナリ
マシタノデアリマシタガ、衆議院ニ於テハ承諾セラレマシタケ
レドモ、貴族院ニ於テ承諾ヲ得ル追ナク議會解散ニナッタ次
第デアリマス、仍テ本年勅令第四十七號ヲ以テ、將來ニ
向テ其效力ヲ無イコトヲ失フコトヲ公布セラレマシタ、
然ルニ是等財産ハ向ホ引續キ確保管理スル必要アリマス
ル爲メニ、更ニ憲法第八條第一項ニ依ッテ、此大正九年勅
令第四十八號ヲ公布セラレタノデアリマス、而シテ此勅令
ハ將來向ホ其效力ヲ有セシムル必要ガアリマスルニ依ッテ、茲
ニ憲法第八條第二項ニ從ヒ、議會ノ承諾ヲ求ムル次第
デアリマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 日程第六、右議案ノ審查ヲ付託
スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ大正九年勅令第七十一號、承諾
ヲ求ムルノ件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ
カ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議
ノ如ク決シマス、日程第七、大正九年勅令第五十二號ヲ
議題ト致シマス

第七 大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ
求ムル件)

大正九年勅令第五十二號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝
國憲法第八條第一項ニ依リ大豆、生牛肉、鳥卵、綿織
絲及綿織物ノ輸入税ノ低減又ハ免除ニ關スル件ヲ裁
可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽
大正九年三月二十四日
內閣總理大臣 原 敬
司法大臣 加藤友三郎
海軍大臣 子爵內田 康哉
外務大臣 子爵高橋 是清
陸軍大臣 田中 義一
農商務大臣 山本 達雄
文部大臣 床次竹二郎
逓信大臣 中橋徳五郎
野田卯太郎

勅令第五十二號
政府ハ當分ノ內勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ大豆、生牛肉、
鳥卵、綿織絲及綿織物ノ輸入税ヲ低減又ハ免除スルコ
トヲ得

附則
本令ハ大正八年勅令第四百七十八號失効ノ日ヨリ之
ヲ施行ス

〔政府委員田中隆三君登壇〕
○政府委員(田中隆三君) 唯今議題ニナッテ居リマスル
勅令第五十二號ノ承諾ヲ求メマスル此案ハ、大豆以下五
品ニ就テ、御承知ノ生活必需品トシテ、其輸入關稅ヲ免除
シマシテ、輸入ヲ促進シテ國內ノ供給ヲ潤澤ニスルコト云フ
目的ヲ以テ、發布セラレマシタ所ノ緊急勅令デアリマス、而

シテ其勅令ニ關スル今日マデノ順序ハ、唯今內務大臣ガ他
ノ勅令ニ就テ、御説明ニナッテ通リト同ジ運命ヲ辿ッテ來テ
居リマスルノデ、昨年ノ議會ニ承諾ヲ求メルノ案ヲ提出致
シマシタケレドモ、衆議院ハ通過致シマシテ、貴族院ニ關
中、不幸ニシテ解散ノ爲メニ承諾ノ結果ヲ得ナカッタデア
リマス、ソレ故ニ更メテ五十二號ノ勅令トシテ復タ公布セラ
レテ、サウシテ此度ノ議會ニ於テ御承諾ヲ求ムルト云フコト
ニナッタデアリマス、既ニ昨年ニ於テモ十分説明シタル通
リデゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上、御承諾ヲ與ヘラレンコト
ヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 日程第八、右議案ノ審查ヲ付託
スヘキ委員ノ選舉ヲ議題トシマス

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ議長ニ於テ指
名セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ
如ク決シマス、一ツ諮問致ス事ガゴザイマス、第六部選出豫
算委員尾崎行雄君、常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許
可スルコトニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、第六部
ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ヒ、御届アラントラ望ミマス、
成ルベク明日午前十時ヨリ開會ノ豫算委員會二回ニ合フ
ヤウニ、速ニ選舉アラントラ望ミマス、明日ハ本會ハ休ミマ
ス、本會ナリ此三日ハ、引續イテ本會ヲ開ク積リデゴザイマ
ス、次會ナリ其日々々ノ議事日程ハ、公報ヲ以テ御通知致
シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時二十九分散會

〔昨五日岩崎勳君提出討論終局ノ動議採決ノ際
ニ於ケル記名投票者ノ氏名左ノ如シ〕
討論終結ノ動議ヲ可トスル者(二百六十七名)

石井 三郎君 今井 今助君 今泉嘉一郎君
石川 善盛君 岩崎宗茂助君 市村 貞造君
岩切 重雄君 一宮房治郎君 禰 苗代君
飯島 信明君 伊藤 虎助君 岩崎 勳君
井上敬之助君 池田 龜治君 井坂 豐光君
岩崎幸治郎君 井上角五郎君 石川 玄三君

